令和8年度着手

県　営　土　地　改　良　事　業　計　画　書

安養寺（狐谷溜）地区　　農業用用排水施設事業

【ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）】

福　井　県

目　　　　　次

第１章　目　的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第２章　地域及び地積　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第１節　地　域　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第２節　地　積　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第３章　現　況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
第１節　気象及び海象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
１．一般気象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．特殊気象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３．海　　象　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
第２節　土地状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
１．地形、土壌及び侵食の程度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
２．土地分類　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
３．土地利用の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
４．土地所有の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
第３節　水利状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
１．用水状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
２．排水状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
３．河川状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
第４節　道路概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
１．道路概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
２．主要道路一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
第５節　地域農業の概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
１．産業別就業人口　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
２．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況
並びに専兼業別農家数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
３．動力農機具及び主要家畜頭数　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
４．主要作物作付け状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
農業の動向　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
第６節　地域環境の概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

第４章　一般計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
第１節　事業計画の要旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
１．要　　旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
２．事業別面積　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

第２節　営農計画及び土地利用計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
１．営農計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
２．土地利用区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
３．作付方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
４．生産計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
５．労働改善計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
６．級地別土地利用区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
７．土地配分計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
第３節　用水計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
１．計画基準年 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
２．計画かんがい方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
３．計画用水系統 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
４．計画用水量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
５．水源計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
第４節　排水計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
１．計画基準雨量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
２．計画排水方式 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
３．計画排水系統・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
４．計画排水量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
５．排水対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
６．たん水検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
第５節　道路計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
１．道路及び索道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
２．路線配置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
第６節　農用地造成計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
１．農用地造成計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
２．土壌改良 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
第７節　洪水調節計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
１．計画基準雨量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
２．計画洪水量及び調節量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
３．貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
４．洪水調節検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
５．管理計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
第８節　干拓計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
第９節　農用地整備計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
１．区画整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
２．暗渠排水 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
３．客　　土 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
４．農地保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

第10節　老朽ため池改修計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
１．洪水吐改修計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
２．堤体補強計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
３．取水施設改修計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

第 5 章 主要工事計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
第１節　用水施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
１．貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
２．頭首工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
３．揚水機 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
４．用水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
５．その他かんがい施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
第２節　排水施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
１．排水水門 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
２．排水機 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
３．排水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
４．その他排水施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
第３節　道路及び索道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
１．道　　路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
２．索　　道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
第４節　農用地造成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
１．農用地造成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
２．土壌改良 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
第５節　洪水調整施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
１．貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
２．頭首工及び導水路 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
第６節　干拓施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
１．堤防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
２．潮止め ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
３．付属施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
４．埋立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
第７節　農用地整備施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
１．区画整理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
２．暗渠排水 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
３．客土 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
４．除礫 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
５．農地保全 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

第８節　老朽ため池改修施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
１．貯水池 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
２．堤体補強施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

第 6 章 附帯工事計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

第 8 章 環境との調和への配慮 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34

第 9 章 換地計画の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
第１節　換地計画を作成する上での基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
第２節　換地区の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
１．換地区の名称、所在、面積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
２．換地区を設定する理由 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
第３節　換地計画樹立の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
１．従前の土地の地積の基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
２．用途別予定地積 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
３．農用地集団化の方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
４．非農用地の換地方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
第４節　土地の評価及び清算の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
１．評価の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
２．清算の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
第５節　換地計画樹立の年度計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
第６節　換地処分の時期に関する特則 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 10 章 事業費の総額及び内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

第 11 章 効　　　用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第 12 章 関連する事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第 13 章 現況・計画図面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

第１章　　目　　的

本ため池（狐谷溜）は昭和の年代（築造時期不明）に造成された農業用ため池であり、約15.2haの農地をかんがいしている。令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、平成24年度に実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。本事業により老朽化したため池の改修を実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、地元住民の安全と安定的な農業経営を図り、早急かつ計画的に事業を推進していく。

第２章　　地域及び地積

第１節　　地　　域

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設	越前市　安養寺町　地係

第２節　　地　　積

令和7年11月　　（第２表）

事 業 名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　　考
農業用用排水施設	越　前　市	15.2	－	－	－	－	15.2	
計		15.2	－	－	－	－	15.2	

第３章　　現　　況

第１節　気象及び海象

１．一般気象

（第３表-1）

観測所名	福井観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	H23年～R2年	５月～９月	１０月～４月		
平　均　気　温　(℃)		23.8	8.9	15.1	
降 水 量	平均　(mm)	194	207	202	
	基準年　(mm)	－	－	－	
降水日数	平均　(日)	11	17	15	
	基準年　(日)	－	－	－	
根　雪　期　間		12　月　～　3　月　　日間			
無　霜　期　間		4　月　～　11　月　　－　日間			
最　多　風　向		S（南）	最大風速	21.8 m/S	H30.9.4

2．特殊気象

（第３表－２）

観測所名 福井観測所	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
観測期間 Ｈ 3年～Ｒ 2年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	198	H16.7.18	1/17	162	H18.7.18	1/22	144	H7.7.3	1/11	138	H25.7.29	1/9	134	H24. 9. 6	1/8	
最大時間雨量 (mm)	75	H16.7.18	1/61	63	H21.8.2	1/17	63	H24.9.6	1/17	55	H25.7.13	1/10	55	R2. 9.4	1/10	
最大４時間雨量 (mm)					記録なし											
最大連続雨量 (mm)	567	H7.7.1 ～H7.7.22	1/61	534	H18.7.11 ～H18.7.27	1/45	350	H25.11.15 ～H25.12.11	1/8	347	H30.9.3 ～H30.9.18	1/8	341	H26.8.2 ～H26.8.30	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	34	H30.7.13 ～H30.8.15	1/47	32	H6.7.8 ～H6.8.8	1/32	29	H9.8.8 ～H9.9.5	1/17	25	H22.7.16 ～H22.8.9	1/8	23	H14.5.19 ～H14.6.10	1/5	

3．海　　象

（第３表－３）

観測所名 観測期間　　年～年	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
実測値			該当事項なし					

第２節　土地状況

１．地形、土壌及び侵食の程度

（第4表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11以下	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農業用用排水施設	面積(ha)	－	－	15.2	－	－	15.2	－	－	－	－	－	－	－	－	85.1	51.4	
	比率(%)	－	－	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－			
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
計	面積(ha)	－	－	15.2	－	－	15.2	－	－	－	－	－	－	－	－	85.1	51.4	
	比率(%)	－	－	100.0	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－			

（第4表-1-2）

項目 / 土壌統(区)名	土壌区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	レキ層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層黒泥層及びグライ層			農業用用排水施設		計	
D-32	Y/G	なし	なし	糸根管状有	粘質	粘質	強粘質	あり	沖積世	非固結水成岩	15.2		15.2	
計											15.2		15.2	

（第4表-1-3）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)			該当事項なし								
	比率(%)											

2．土地分類

（第4表-2-1）

級地別 / 市町村名	農用地造成											計 (ha)	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)		
					該当事項なし								※は傾斜以外の要因によるもの

級地別 / 市町村名	干拓					備考
	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
			該当事項なし			

3．土地利用の状況

令和7年11月　（第4表-3）

事業名	土地利用別 / 市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地のその他 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用用排水施設	越前市	15.2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15.2	
合計		15.2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15.2	

4．土地所有の状況

令和7年11月　（第4表-4）

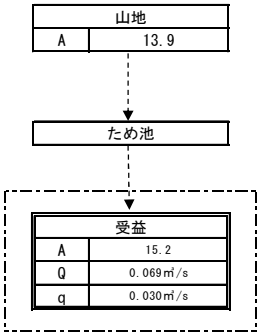
事業名	所有別 / 区分	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備考
農業用用排水施設	面積 (ha)	15.2	－	－	－	－	15.2	
	受益者数 (人)	43	－	－	－	－	43	
	筆数 (筆)	107	－	－	－	－	107	
	権利関係	－	－	－	－	－	－	
	備考							
	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考							
合計	面積 (ha)	15.2	－	－	－	－	15.2	
	受益者数 (人)	43	－	－	－	－	43	
	筆数 (筆)	107	－	－	－	－	107	
	権利関係	－	－	－	－	－	－	
	備考	－	－	－	－	－	－	

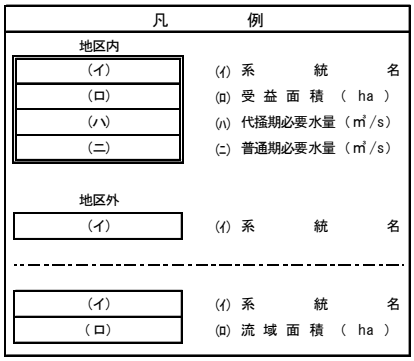
第 3 節　　水利状況

1．　用水状況

本地区の用水は渓流水を水源としており、不足分はため池を活用しパイプラインにより受益地まで送水している。

（1）　　現況用水系統





（２） 用水施設

（ア）取水方法一覧表

（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500ha以上 箇所	ha	50～100ha 箇所	ha	50ha未満 箇所	ha	計 箇所	ha	水利権 箇所	㎥/s	その他 箇所	㎥/s	延べ取水量 ㎥/s	備考
農業用用排水施設	貯水池自然取入口	－	－	－	－	1	15.2	1	15.2	－	－		－	0.069	
	井　堰	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	計	－	－	－	－	1	15.2	1	15.2	－	－	1	－	0.069	
合　計		－	－	－	－	1	15.2	1	15.2	－	－	1	－	0.069	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第５表－２）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積(ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用用排水施設	貯水池	1	15.2	均一型	V=1,092m3 堤高 H=5.4m 堤長 L=62.3m	不明	・豪雨時の安全性の確保 ・堤体の耐震性の確保	
	井　堰	－	－	－	－	－	－	
	自然取入口	－	－	－	－	－	－	
	揚水機	－	－	－	－	－	－	
	用水路	－	－	－	－	－	－	
	その他	－	－	－	－	－	－	
	計	1	15.2					
合　計		1	15.2					

（３） 用水に関する被害状況

（ア） 用水不足による被害状況

（第５表－３－１）

事業名	項目／系統名	かんがい面積(ha)	現況必要水量(千㎥)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均(㎥/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年(㎥/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均(千㎥)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年(千㎥)	平均減産量 作物名	平均減産量 減産量(t)	備考
				該当事項なし						
	計									
合計										

（イ） その他の被害状況

（第５表－３－２）

事業名	時期別	かんがい面積(ha)	水温(℃) 最高	水温(℃) 最低	水質	被害量(t)	備考
			該当事項なし				

（４） ため池決壊の場合の想定被害状況

（第5表-3-3）

事業名	想定被害面積(ha) 田	畑	その他	計	想定被害額（百万円） 作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	備考
農業用用排水施設	5.8	－	－	5.8	－	33,943	113,578	32,275	153,051	332,847	
合計	5.8	－	－	5.8	－	33,943	113,578	32,275	153,051	332,847	

２．　排水状況

該　当　事　項　な　し

（１）排水系統

該　当　事　項　な　し

（２）　排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第5表-4）

事業名	項目／施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	100～500ha 箇所	100～500ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (㎥/s)	現況排水能力 (㎥/s)	備考
	自然	排水路											
	自然	水門											
	機械	排水機			該当事項なし								
	機械	水門及び排水機											
	機械	排水路及び排水機											
	計												
合計													

（イ）改修を要する施設一覧表

（第5表-５）

事業名	項目／施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	自然	排水路							
	自然	水門							
	機械	排水機			該当事項なし				
	機械	水門及び排水機							
	機械	排水路及び排水機							
	計								
合計									

（３）　排水に関する被害状況

（第5表-6）

事業名	項目／系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況 湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千㎥)	乾湿状況(ha) 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 作物名	減産量 (t)	備考
			平均														
			基準年														
			平均		該当事項なし												
			基準年														
	計																
合計																	

３．　河川状況

（１）河川状況

（第5表-7）

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量 （㎥/s）	備考
			該当事項なし			

（２）洪水に関する被害状況

（第5表-8）

項目 区分	農用地 （百万円）	農用施設 （百万円）	作物 （百万円）	公共施設 （百万円）	備考
過去の最大被害額		該当事項なし			
平均被害額					

第 4 節　道路概況

1．道路概況

該　当　事　項　な　し

2．主 要 道 路 一 覧 表

（第 6 表）

No	路線名	管理区分別	延長（m）	幅員（m） 全幅	幅員（m） 有効	構造	改修の要否	備考
			該当事項なし					

第５節 地 域 農 業 の 概 況

1．産 業 別 就 業 人 口

令和2年国勢調査 （第７表－１）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
越前市	44,816	1,075	39	8	18	3,425	16,790	167	1,909	6,062	734	367	13,065	1,157	－	国勢調査
計	44,816	1,075	39	8	18	3,425	16,790	167	1,909	6,062	734	367	13,065	1,157	－	
比率（%）	100.0	2.4	0.1	－	－	7.6	37.5	0.4	4.3	13.5	1.6	0.8	29.2	2.6	－	

2．経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

農林業センサス 令和2年度 （第７表－２）

項目 / 市町村名	農家総戸数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸） 例外規定適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0ha以上	自給的農家	一戸当たり平均農用地面積(ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 一戸当団地数	団地当面積(ha)	専兼業別農家数（戸） 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
越前市	1,196	26	209	421	233	109	71	38	31	26	32	－	1.89	0.31	－	2.20	－	2.20	－	－	－	－	1,740	
計	1,196	26	209	421	233	109	71	38	31	26	32	－	1.89	0.31	－	2.20	－	2.20	－	－	－	－	1,740	
比率(%)	100.0	2.2	17.5	35.2	19.5	9.1	5.9	3.2	2.6	2.2	2.7	－	85.9	14.1	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	100.0	

3．動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数

農林業センサス 令和2年度 （第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具 トラクター 数量（台）	トラクター 戸数（戸）	田植機 数量（台）	田植機 戸数（戸）	動力防除機 数量（台）	動力防除機 戸数（戸）	コンバイン 数量（台）	コンバイン 戸数（戸）	主要家畜 乳用牛 数量（頭）	乳用牛 戸数（戸）	肉用牛 数量（頭）	肉用牛 戸数（戸）	採卵鶏 数量（百羽）	採卵鶏 戸数（戸）	豚 数量（頭）	豚 戸数（戸）
越前市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	X	－	460	1	X	X
計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	X	－	460	1	X	X
100戸当数量(台,頭)	－		－		－		－		－		－		46,000		－	
利用戸数割合(%)																

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの －:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が２戸以下のもの)。

４．主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在　（第７表－４）

市町村名			越前市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積(ha)			3,590						3,590	3,590		
総本地面積(ha)			3,320						3,320	3,320		
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
輪換田	表作	水稲	2,420	516					2,420	516	73.0	
		大麦	306	255					306	255	9.2	
	裏作	大豆	74	102					74	102	2.2	
	小計		2,800						2,800			
畑	春夏作											
	秋冬作											
	小計		－									
樹園地												
	小計		－									
計			2,800						2,800			
市町村別延べ作付率(%)			84.3						84.3			

５．農業の動向

農林水産統計年報 R7現在　（第７表－５）

項目 / 区分	農家	B	A	土地	B	A	主要作物	B	A	大家畜	B	A	動力農機具	B	A	地域指定等	備考
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	83	57	耕地	99	96	水稲	96	94	乳牛	－	－	田植機	76	－	越前市 農業振興指定 指定 S46. 3.9 認可 S46. 9.27	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専業農家	128	－	田	99	97	麦類	110	70	肉用牛	－	－	動力耕耘機	－	－		
	第一種兼業農家	140	－	畑	99	100	豆類	163	145	豚	102	X	ﾄﾗｸﾀｰ	81	－		
	第二種兼業農家	77	63	樹園地	－	－				採卵鶏	－	－	バインダ	－	－		
	農業従事者数	73	－	草地	－	－							ｺﾝﾊﾞｲﾝ	80	－		
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減				

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの　－:事実のないもの　…:調査を欠くもの　X:該当農家が２戸以下のもの)。

第６節　　地域環境の概況

本地区は、越前市の北西部に位置する山間地で、安養寺集落の農地が広がる地域である。希少な生物としてトノサマガエルが確認されている。

第４章 一般計画

第１節　事業計画の要旨

１．要　　旨

本ため池（狐谷溜）は、地震時における堤体の安定性に欠けていることや、現況の洪水吐の洪水時における排水能力（1/200年確率雨量）が不足していることにより、今後地震や豪雨の際に堤体の崩壊を招く恐れが極めて高い状態である。よって本事業によりため池の堤体、洪水吐、取水施設を改修し、農地・農業用施設だけでなく、人家、公共施設等への被害を未然に防止する必要がある。

２．事業別面積

（第 8 表）

事業名	農業用用排水施設												計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
農業用用排水施設	15.2	－	－	－	－	15.2						－	15.2	
計	15.2	－	－	－	－	15.2						－	15.2	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

本地区では、水稲、大麦、ソバを作付けしている状況であり、今後も現況作付作物を継続して行っていく予定である。

２．土地利用区分

（第 9 表－１）

事業名	土地利用区分 / 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
農業用用排水施設	現　況	15.2	－	－	－	－	－	15.2	－	－	－	15.2	
	計　画	15.2	－	－	－	－	－	15.2	－	－	－	15.2	
	現　況												
	計　画												
計	現　況	15.2	－	－	－	－	－	15.2	－	－	－	15.2	
	計　画	15.2	－	－	－	－	－	15.2	－	－	－	15.2	

3. 作付方式

（第 9 表－2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	備考
				1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	
農業用用排水施設	現況	水稲＋畑作物	輪換田	水稲 大麦	水稲 大麦 そば	水稲	
			畑				
			樹園地				
	計画	水稲＋畑作物	輪換田	水稲 大麦	水稲 大麦 そば	水稲	
			畑				
			樹園地				

4. 生産計画

（第 9 表－3）

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha) 現況	計画	増減	作付率 (%) 現況	計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 現況	計画	増減	生産量 (t) 現況	計画	増減	同左生産量増減の内訳 (t) 面積増減	単位面積当収量増加	備考
農業用用排水施設	輪換田	表作	水稲	13.9	13.9	－	94.6	94.6	516	516	－	71.7	71.7	－	－	－	
			大麦	0.3	0.3	－	2.0	2.0	286	286	－	0.9	0.9	－	－	－	
			そば	0.5	0.5	－	3.4	3.4	40	40	－	0.2	0.2	－	－	－	
		裏作															
	畑	春夏作															
		秋冬作															
	樹園地																
合計				14.7	14.7	－	100.0	100.0									

※表内の作付率は本地面積（現況15.2ha，計画15.2ha）に対する割合である。

5．　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
農業用排水施設	輪換田	水稲	13.9	人力	19.83	19.83	－	
				機械	5.97	5.97	－	
		大麦	0.3	人力	6.68	6.68	－	
				機械	3.08	3.08	－	
		そば	0.5	人力	6.72	6.72	－	
				機械	2.76	2.76	－	
	樹園地							
合計			14.7					

※表内の作付面積は本地率を考慮した値である。

6．　級地別土地利用区分

（第９表－５）

土地利用区分／区分	級地名	農用地造成 (ha) 一級地	二級地	三級地	四級地	計	干拓 (ha) 一級地	二級地	三級地	四級地	計	合計
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	（普通畑）				該当事項なし							
	（牧草畑）											
	樹園地											
	（桑園）											
その他												
計												

7．　土地配分計画

（第９表－６）

区分／項目	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha) 田	輪換耕地	畑 普通畑	牧草畑	樹園地			計	備考
増反		（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
		該当事項なし								
入植		（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	

第３節　　用水計画

１．計画基準年

計　画　基　準　年 …… １９９４年

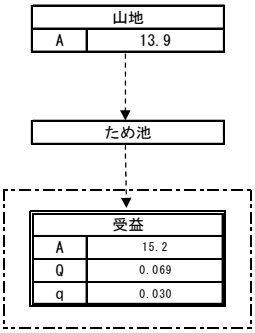
連続干天日数３２日

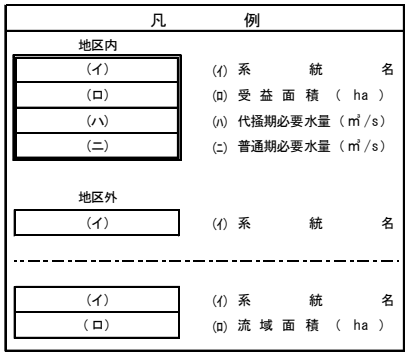
２．計画かんがい方式

か ん が い 方 式 …… 開水路による送水

#　　#

（１）　計画用水系統





4. 計画用水量

(1) かんがい用水

系統名	種別	面積 (ha) 事業名 農業用排水施設			計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量 (mm/日)	代掻期 計画代掻単位用水量 (mm/日)	面積 (ha)	水田畑利用 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)
安養寺	用水	15.2			15.2	20	150	15.2	—	—	—	—	—	—
計		15.2			15.2			15.2			—			—

（第１０表－１－１）

その他 計画平均用水量単位 (mm/日)	面積 (ha)	消費水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量 平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	備考
—	—	0.060	15	0.030	0.069	
—	—	0.060		0.030	0.069	

※消費水量は代掻期の値、粗用水量の平均値は出穂開花期、最大値は代掻期の値とした。

(2)　営農飲雑用水

（第１０表－１－２）

区分	利用目的	対象面積 (ha) 事業名			日当給水量 単位給水量 (ﾘｯﾄﾙ/日)	日当給水量 最大給水量 (ﾘｯﾄﾙ/日)	補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
				計					
		該　当　事　項　な　し							

5.水源計画

(1) 水利用計画

（第１０表－２）

項目 / 区分		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量 水源名	取水地点利用可能量	圃場利用可能量	不足水量 純不足水量	全不足水量	水源依存量 水源名	水量	水源工種	備考
		a (千㎥)	b (千㎥)	c=a−b (千㎥)	d=c/(1−a) (千㎥)		e (千㎥)	f (千㎥)	g=c−f (千㎥)	h=d−e (千㎥)		(千㎥)		損失率 α
事業名		該　当　事　項　な　し												
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

（第１０表－３）

項目 / 貯水池名	流域面積 (ｋ㎡) 直接	間接	かんがい面積（ｈａ） 事業名 用排水		計	純貯水量 (千㎥)	利用貯水量 (千㎥)	利用回数 (回)	最大取水量 (㎥/s)	備考
狐谷溜	0.139	−	15.2		15.2	10.770	10.770	−	0.069	
計	0.139	−	15.2		15.2	10.8	10.8	−	0.069	

(イ) 井堰及び自然取入口

（第１０表－４）

項目 / 取水施設名	河川名	流域面積 (k㎡)	かんがい面積（ｈａ） 事業名		計	取水量（㎥/s） 最大	平均	渇水量 (㎥/s)	備考
			該　当　事　項　な　し						
計									

(ウ) 揚水機

（第１０表－５）

項目 / 名称	水源名	かんがい面積(ha) 事業名		計	所要水量(㎥/s) 最大	平均	揚水機 実揚程 (m)	揚水量 (㎥/s)	台数 (台)	全揚水量 (㎥/s)	備考
		該　当　事　項　な　し									

(エ) 用水路

（第１０表－６）

項目	かんがい面積(ha) 事業名		計	最大通水量 (㎥/s)	延長 (km)	構造	備考
	該　当　事　項　な　し						

(オ) その他の水源施設

該　当　事　項　な　し

（３）水質水温

（第１０表－７）

時　間　別	かんがい面積	水　温		水　質	被害量	備　考
		最　高	最　低			
		該　当　事　項　な　し				

第４節　　排水計画

１ 計画基準雨量

該　当　事　項　な　し

2. 計画排水方式

該　当　事　項　な　し

3. 計画排水系統

該　当　事　項　な　し

4.　計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名			計	流域面積（km²） 山地	平地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（m³/s/km²） 山地	平地	基底流出量（m³/s/km²） 山地	平地	全排水量（m³/s） 山地	平地 自然排水	平地 機械排水	単位排水量（m³/s/km²） 山地	平地
						該当事項なし										
計																

5.　排水対策

(1)　排水水門

（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名		計	計画 排水量（m³/s）	地区内湛水深（m）	排水本川 名称	計画洪水量（m³/s）	計画洪水位（m）	備考
					該当事項なし					
計										

(2)　排水機

（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名		計	計画 排水量（m³/s）	地区内湛水深（m）	排水本川 実揚程（m）	排水量（m³/s）	台数（台）	全排水量（m³/s）	備考
					該当事項なし						
計											

(3)　排水路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積（km²）	受益面積（ha） 事業名		計	計画排水量（m³/s）	延長（km）	構造	排水本川 名称	計画洪水量（m³/s）	計画洪水位（m）	備考
					該当事項なし						
計											

(4)　その他

該当事項なし

6．たん水検討

該当事項なし

第６節　農用地造成計画

１.農用地造成計画

（１）　農用地造成計画

（第１３表－１）

項目 / 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
		該当事項なし			

（２）　末端道水路配置図

２.土壌改良

（第１３表－２）

項目 / 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	ＰＨ		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ｈａ当たり所要量			備考
			H_2O	KCℓ			石灰 (t)	りん酸質資材(t)	有機質資材(t)	
				該当事項なし						

第７節　洪水調節計画

１.計画基準雨量

該当事項なし

２.計画洪水量及び調節量

（第１４表－１）

地点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時調節量 (m³/s)	ピーク時調節後流量 (m³/s)	調節後最大流量 (m³/s)	調節前後の最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)
				該当事項なし						

３.貯　水　池

（第１４表－２）

項目 / 貯水池名	流域面積(km²)		計画洪水量 (m³/s)	貯水量(千m³)			計画調節流量(m³/s)	可能調節流量(m³/s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
狐谷溜	0.139	－	3.9	10.770	－	－	－	－	

第５節　　道路計画

１.道路及び索道

（１）　道　路

（第１２表－１）

項　目 路線名	幅　（有効）×　延　長 (m)　　(km)	構　　造	既設道路との関係	備　　考
	該　当　事　項　な　し			
計				

（２）　索　道

（第１２表－２）

項　目 路線名	能　　力　(t/hr)	延　　長　　(m)	接 続 道 路 名	備　　考
	該　当　事　項　な　し			

２.路線配置図

該　当　事　項　な　し

４.洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係

該　当　事　項　な　し

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響

該　当　事　項　な　し

（３）計画基準雨量以外の降雨についての検討

該　当　事　項　な　し

５.管理計画

（１）管理機構

該　当　事　項　な　し

（２）ダム管理操作上の各種基準

該　当　事　項　な　し

（３）洪水調節要領

該　当　事　項　な　し

第８節　干拓計画

（第１５表）

項目 / 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備考
		該当事項なし				

第９節　農用地整備計画

１．　区画整理

（１）　区画の形状

（第１６表－１）

長　辺×短　辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備　　考
	該　当　事　項　な　し				
計					

（２）　表土扱い

（第１６表－２）

面　　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　量 (m³)	備　　考
	該　当　事　項　な　し			

（３）　末端道水路配置図

該　当　事　項　な　し

2．暗渠排水

(1) 暗渠排水

（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (リットル/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口以下の排水方法	備考
				該当事項なし					
計									

(2) 心土破砕

（第１６表－３－２）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	土壌硬度	備考
				該当事項なし		
計						

3．客　　土

（第１６表－４）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	減水深 (mm/日) 現況平均	減水深 (mm/日) 計画平均	作土の厚さ (cm) 現況平均	作土の厚さ (cm) 計画平均	10a当たり客土量 (㎥)	土壌の性質 受益地	土壌の性質 採土地（客土材料）	備考
				該当事項なし								
計												

4．農地保全

（１）　防災林

（第１６表－５－１）

項目 / 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
	該当事項なし			

（２）　排水工

（第１６表－５－２）

項目 / 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量 単位排水量 (㎥/s/ha)	排水量 全排水量 (㎥/s)	備考
		該当事項なし				

（３）　侵食（崩壊）防止工

（第１６表－５－３）

項目 / 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
	該当事項なし			

第１０節 老朽ため池改修計画

１.洪水吐改修計画

（１） 計画基準雨量

１／２００年確率・・・・・・77.6mm/hr

（２） 計画洪水量

3.9m^3/s

２.堤体補強計画

豪雨対策・・・・・・洪水吐工の改修
地震対策・・・・・・築堤盛土による耐震性の確保

３.取水施設改修計画

提体補強のための掘削に影響を及ぼすため、撤去更新を行う。
・ 斜樋ゲート４門（現況と同等）
・ 底樋　φ800　L=20.4

第５章　主要工事計画
第１節 用水施設
１．貯水池

（第１７表－１）

名称	狐谷溜			位置	越前市安養寺町地係					備　考
堤　体	型式	流域面積　(km²)		堤高	堤長	堤体積	基礎地盤	貯水量（千m³）		
		直接	間接	(m)	(m)	(千m³)	地質	総貯水量	有効貯水量	
	傾斜遮水ゾーン型	0.139	－	6.1	100.0	3.448	粘質・強粘質	10.77	10.77	
洪水吐	型　　式		洪水量 (m³/s)	取水施設	型式	取水量 (m³/s)	放流施設	型式	放流量 (m³/s)	
	正面越流型		3.90		取水ゲート	0.069		－	－	

２．頭首工

（第１７表－２）

名　　称				位　　置				備　　考
型　　式	提　高 (m)	提　　長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付帯施設	
		固 定 部	可 動 部	計				
			該　当　事　項　な　し					

３．揚水機

（第１７表－３）

項　目 ＼ 名　称	位　置	揚水量 (m³/s)	揚　程（m）		揚　水　機			原　動　機			備　考
			全揚程	実揚程	型　　式	口　径 (mm)	台　数 (台)	型　式	動　力 (kW)	台　数 (台)	
				該　当　事　項　な　し							

４．用水路

（第１７表－４）

項　目 ＼ 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m³/s)	延　長　(km)			構　造	勾配	主要構造物	備　考
	事　業　名				開きょ	トンネル その他	計				
			計								
				該　当　事　項　な　し							
計											

５．その他かんがい施設

該　当　事　項　な　し

第２節 排水施設

１．排水水門

（第１８表－１）

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (㎥/s)	備考
			該当事項なし				
計							

２．排　水　機

（第１８表－２）

項目 名称	位置	排水量 (㎥/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
				該当事項なし							
計											

３．排　水　路

（第１８表－３）

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (㎥/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きょ	トンネル その他	計				
			計								
				該当事項なし							
計											

４．その他排水施設

該当事項なし

第３節　道路及び索道

１．　道　　路

（１）道路の総括表

（第１９表-１）

項目／区分	路線名	幅(有効)×延長 (m)　(km)	構造	付帯構造物 名称	付帯構造物 構造	付帯構造物 数量(箇所)	最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
		該当事項なし								
計										

（２）道路主要構造物

（第１９表-２）

項目／路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考
		該当事項なし			

２．　索　　道

（第１９表-３）

項目／名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 形式	原動機 動力	備考
		該当事項なし				

第４節　農用地造成

１．　農用地造成

（１）抜　　根

（第２０表-１）

項目／区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
		該当事項なし				
計						

（２）除　　礫

（第２０表-２）

項目／区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m^3/ha)	面積 (ha)	工法	備考
		該当事項なし			
計					

（３）　開墾作業

（第２０表－３）

項目／区分		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
		該当事項なし		
計				

（４）　地目変換

（第２０表－４）

項目／区分	面積 (ha)	工法	備考
	該当事項なし		
計			

（５）　末端用水路等

（第２０表－５）

項目／区分	数量	規模	構造	備考
	該当事項なし			

（６）　末端排水路等

（第２０表－６）

項目／区分	数量	規模	構造	備考
	該当事項なし			

２．　土壌改良

（第２０表－７）

項目／区分	面積 (ha)	石灰量 (ｔ)	りん酸質資材量 (ｔ)	有機質資材量 (ｔ)	備考
		該当事項なし			
計					

第５節　洪水調節施設

１．貯水池

該　当　事　項　な　し

２．頭首工及び導水路

（１）頭首工

（第２１表－２）

名称			位置					備　考
			堤　長　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	
型式	集水面積 (km²)	堤　高 (m)	固定部	可動部	計			
該　当　事　項　な　し								

（２）導水路

（第２１表－３）

項目 / 水路名	通水量 (m³/s)	延　長　(m)			構　造	勾　配	備　考
		トンネル	その他	計			
該　当　事　項　な　し							

第６節　干拓施設

１．堤　防

（第２２表－１）

項目 / 名称	型　式	延長 (m)	構造					原地盤標高（m）		備　考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平　均	最　低	
該　当　事　項　な　し										

２．潮止め

（第２２表－２）

項目 / 名称	工　法	幅　員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　考
該　当　事　項　な　し							

３．付属施設

該　当　事　項　な　し

４．埋　　立

（第２２表－３）

項目／区分	面　積 (ha)	埋立標高 (m)	埋立土量 (㎥)	施工方法	備　考
		該当事項なし			

第７節　農用地整備施設

１．区画整理

（１）区画整理

（第２３表－１）

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(㎥)	面積(ha)	土量(㎥)	
		該当事項なし				

（２）末端用水路等

（第２３表－２）

項目／区分	数　量	規　模	構　造	備考
		該当事項なし		

（３）末端排水路等

（第２３表－３）

項目／区分	数　量	規　模	構　造	備考
		該当事項なし		

２．暗渠排水

（１）暗渠排水

（第２３表－４－１）

項目／区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
					該当事項なし												
計																	

（２）心土破砕

（第２３表－４－２）

項目 区分	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (㎥/ha)	面　積 (ha)	工　　法	備　　考
		該　当　事　項　な　し			
計					

３．客　　土

（第２３表－５）

項目 区分	面　積（ha） 事　業　名			客入土量 (千㎥)	土取場土量 (千㎥)	運搬距離 (km)	運搬方法	備　　考
			計					
			該　当　事　項　な　し					
計								

４．除　　礫

（第２３表－６）

項目 区分	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (㎥/ha)	面　積 (ha)	工　　法	備　　考
		該　当　事　項　な　し			
計					

５．農地保全

（１）防風林

（第２３表－７）

項目 区分	幅 (m)	延　長 (m)	面　積 (ha)	樹　種	植栽本数 (本)	備　　考
			該　当　事　項　な　し			
計						

（２）排水路

（第２３表－８）

項目 区分	延　長 (m)	流　量 (㎥/s)	構　　造	備　　考
		該　当　事　項　な　し		
計				

（３）侵食防止工

（第２３表－９）

項目 名称	構　　造	数　　量	備　　考
		該　当　事　項　な　し	
計			

第８節　　老朽ため池改修施設

１．　貯水池

（第２４表）

名　　称	狐谷溜					位　　置	越前市安養寺町地係		
堤	型　　式	流　　域 (km²)	堤　　高 (m)	堤　　長 (m)	堤体積 (m³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m³)	備　　考	
体	傾斜遮水ゾーン型	0.139	6.1	100.0	3,448	1.75	11		
洪水吐	型　　式	排水量 (m³/s)	規　　模 (m)	備　　考	取水設備	型　　式	取水量 (m³/s)	備　　考	
	水路流入型	3.9	1.8			取水ゲート	0.069		

２．　堤体補強施設

（１）のり面保護施設

張りブロック

（２）漏水防止工

提体盛土の改修（改良土による改修）

第６章　　附帯工事計画

取水施設工（斜樋工、底樋工）
洪水吐工

第７章　　工事の着手及び完了の予定時期

換地区または工区	着　　手	完　了　予　定	備　　考
全区	令和　8　年度	令和　11　年度	

第８章　　環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、保全対象生物であるトノサマガエル等の配慮対策について検討するとともに、地区内の発生土は再利用し、多様な緑地の保全に努める。

第９章　換　地　計　画　の　概　要

第１節　　換地計画を作成する上での基本的な考え方

該　当　事　項　な　し

第２節　　換地区の設定

１．　換地区の名称、所在、面積

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
	該　当　事　項　な　し	

２．　換地区を設定する理由

該　当　事　項　な　し

第３節　　換地計画樹立の基本方針

１．　従前の土地の地積の基準

（第２５表－２）

換　地　区　名	地　積　の　基　準
	該　当　事　項　な　し

2. 用途別予定地積

用途（取得予定者）／換地区名	前・後	非農用地区域外に換地する土地												
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第１条の９（　　）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		
						該当事項なし								

（単位：ha）　（第２５表－３）

非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公共用施設用地	宅地等	計							
						該当事項なし									

3 農用地集団化の方針

（第２５表－４）

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	１戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該当事項なし		

4 非農用地の換地方法

該当事項なし

第４節　土地の評価及び清算の方法

1 評価の方法

該当事項なし

2 清算の方法

該当事項なし

第５節　換地計画樹立の年度計画

（第２５表－６）

区分 換地区名	一時利用地の	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
		該当事項なし		

第６節　換地処分の時期に関する特則

該　当　事　項　な　し

（第２６表）

区分 ＼ 事業名	農業用用排水施設（単位:千円）	備考
本体工	47,400	令和　7　年度単価
構造物取壊工	660	
仮設工	7,280	
直接工事費計	55,340	
諸経費	55,340	諸経費100%
工事価格	110,680	
測量試験費	18,200	
用地補償買収費	3,000	
純工事費	131,880	
消費税	13,188	消費税10%
総事業費	145,000	切68,000
関連事業（参考）		

第１１章 効　　用

（第２７表）

事業名	区分 ＼ 項目		年増加見込効果額（千円）	年増加見込所得額（千円）	備考
農業用用排水施設	食料の安定供給の確保に関する効果		8,642	－	
		作物生産効果	9,409	－	
		営農経費節減効果	△ 767	－	
	農村の持続的発展に関する効果		6,373	－	
		災害防止効果（農業資産）	6,373	－	
	農村の振興に関する効果		6,612	－	
		災害防止効果（一般資産）	6,612	－	
	多面的機能の発揮に関する効果		1,505	－	
		災害防止効果（公共資産）	1,394	－	
		景観・環境保全効果	111	－	
	その他効果		1,770	－	
		国産農産物安定供給効果	1,770	－	
	計		24,902	－	令和 7 年度単価

総費用（現在価値化）：　332,883 千円

総便益額（現在価値化）：　511,707 千円

総費用総便益比：　1.53 ≧ 1.00

総所得償還率：　－ % ≦ 20 %

増加所得償還率：　－ % ≦ 40 %

第１２章 関連する事業

（第２８表）

区分	事業名	事業主体	受益面積（ｈａ）	備考
		該当事項なし		

第１３章　現況・計画図面

別途添付

１．計画平面図

効　果　算　定　調　査　表

安養寺（狐谷溜）地区

（農　業　用　水　路）

福　井　県

地　区　の　概　要

安養寺（狐谷溜）地区

項　目	内　容	備　考
地区概要	本ため池（狐谷溜）は昭和の年代（築造時期不明）に造成された農業用ため池であり、約15.2haの農地をかんがいしている。令和2年10月に施行された防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法に基づく防災重点農業用ため池に指定されており、平成24年度に実施した地震・豪雨耐性評価の調査により、基準値を下回る結果となっている。本事業により老朽化したため池の改修を実施し、ため池の維持管理の軽減や用水の安定供給、また防災工事を早急に実施し、地元住民の安全と安定的な農業経営を図り、早急かつ計画的に事業を推進していく。	
計画内容	（本 地 区）農村地域防災減災事業 防災重点農業用ため池緊急整備事業	

工　種	数　量	規格・規模等	備　考
提体改修工	1.0 式	堤体補強+張ブロック　※狐谷溜は防災重点ため池	
洪水吐改修工	1.0 式	正面越流型、用水接続	
取水施設改修工	1.0 式	斜樋、底樋	
測量試験費	1.0 式	測量、地質調査、実施設計、環境調査	
用地補償費	1.0 式		

受益区域

工　種	田(ha)		畑(ha)		計(ha)		備　考
	現　況	計　画	現　況	計　画	現　況	計　画	
用水受益	15.2	15.2	－	－	15.2	15.2	
計	15.2	15.2	－	－	15.2	15.2	

営 農 状 況 及 び 営 農 計 画

安養寺（狐谷溜）地区

項　　目	内　　容	備　　考
営農計画概要		

1．農業経営の状況及び計画

本地区の農業経営は地区の担い手農家（認定農業者1名、農事組合法人2組織）を主体に合理的な農業経営が行われており、今後も継続して営農を行っていく予定である。

経営区分	経営体数		経営面積（ha）		農地集積率（%）		備　考
	現　況	計　画	現　況	計　画	現　況	計　画	
認定農業者	1名	1名	1.0	1.0	6.5	6.5	
生産組織	－ 組織	－ 組織	－	－	－	－	
農地所有適格法人	2組織	2組織	13.3	13.3	87.5	87.5	
個別経営	3戸	3戸	0.9	0.9	6.0	6.0	
計			15.2	15.2	100.0	100.0	

2．作付状況及び計画

（1）作付状況

本地区では、水稲、大麦、ソバを作付けしている状況であり、今後も現況作付作物を継続して行っていく予定である。

（2）作付計画

本地区では、現状で作付けしている作物を継続することで地元合意を得ている。

経営区分	現　況（ha）			計　画（ha）			備　考
	受益	不可避受益	計	受益	不可避受益	計	
水稲	13.9		13.9	13.9		13.9	
大麦	0.3		0.3	0.3		0.3	
ソバ	0.5		0.5	0.5		0.5	
			－			－	
延作付面積	14.7	－	14.7	14.7	－	14.7	
本地面積	15.2	－	15.2	15.2	－	15.2	
作付率	96.8	－	96.8	96.8	－	96.8	

総　費　用　対　象　施　設　の　整　理

安養寺（狐谷溜）地区

項　　目	内　　容	備　　考
総費用 対象施設	・円弧すべり安定計算結果より、常時満水時の下流側地震時において、必要安全率1.2を下回る。 ・液状化危険度はやや高いため、液状化対策が必要。 ・洪水吐の断面流下能力が不足しているため、洪水吐の改修が必要。 ・余裕高が不足しているため、洪水吐に合わせて確保が必要。 ・提体からの明瞭な漏水は確認されていないため、漏水対策は不要。 ・老朽化により取水施設が機能しておらず、地震直後の水位急降下が行える状況ではないため、工事が必要。	

本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

安養寺（狐谷溜）地区

<table>
<tr><th>項　　目</th><th>内　　容</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>作物生産効果</td><td>

1．諸　元　の　整　理

【 作 物 単 収 】

最近５ヶ年の単収の加重平均値をもって現況単収とした。（「農林水産統計年報」参照）なお「水稲」については関係市町の単収を採用した。その他作物については、関係市町において「指定産地」となっている作物については、関係市町の単収、その他の作物については福井県の単収を採用した。

【 作 物 単 価 】

作物単価については最近５ヶ年の単価に消費者物価指数を乗じて算出した相対平均価格を採用した。なお、水稲については福井県農村振興課の調査による５ヶ年のデータを採用した。その他作物については農業物価統計調査における５ヶ年の全国データを採用した。（「農業物価統計調査」参照）

【純益率・所得率】

北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。
（「令和7年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）

【 本　地　率 】

現況については、地区の標準区画における本地率の算定値を採用した。また計画については、計画本地率＝現況本地率とした。（「別添作物生産効果」参照）

<table>
<tr><th rowspan="2">区　　分</th><th colspan="2">本　地　率</th><th rowspan="2">摘　　要</th></tr>
<tr><th>現　況</th><th>計　画</th></tr>
<tr><td>３０ａ区画</td><td>97.0 ％</td><td>97.0 ％</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

</td><td></td></tr>
</table>

本事業により発生する便益の整理

安養寺（狐谷溜）地区

項　　目	内　　容	備　　考
国産農産物安定供給効果	**1．諸元の整理** **【原単位】** 当該効果における減単位は次のとおりとする。 単位食料生産額当り効果額：49 円/千円（年増加粗収益額1,000円当たり） **2．本地区において発生する効果** 本地区では、今後も食料生産を継続するとともに、計画において生産量が増減することから、当該効果を計上する。	

本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

安養寺（狐谷溜）地区

項　　目	内　　容	備　　考
作物生産効果	**２．本地区において発生する効果** **【更　新　効　果】** **・概　　要** 農業用用排水路の更新により、現況で発揮されている「効果」が今後も継続して発揮されることから、当該効果を計上する。効果の発生割合については「改訂版　新たな土地改良の効果算定マニュアル」に基く。 **・効果発生面積** 用排水受益の現況作付面積とする。 **・増　収　率**	

効果要因	対象作物	増収率(%)	記号	摘　　要
水管理改良	水稲	58.0	水管理-3	通達資料
田畑輪換改良	大麦	15.0	田畑輪換	通達資料
田畑輪換改良	そば	15.0	田畑輪換	通達資料

本事業により発生する便益の整理

安養寺（狐谷溜）地区

<table>
<tr><th>項　　目</th><th>内　　容</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>維持管理費
節減効果</td><td>

1．諸元の整理

【労務単価】

北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。
（「令和7年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照）

<table>
<tr><td rowspan="5">労務単価</td><td>1,490 円/hr</td><td>R3</td></tr>
<tr><td>1,638 円/hr</td><td>R4</td></tr>
<tr><td>1,703 円/hr</td><td>R5</td></tr>
<tr><td>1,761 円/hr</td><td>R6</td></tr>
<tr><td>1,780 円/hr</td><td>R7</td></tr>
</table>

2．維持管理の考え方

○更新施設

・現　　況

既往年経費の平均値を採用する。

・なかりせば

既往年経費のうち安全管理・財産管理に必要な経費とする。

・ありせば

計画年経費（福井県　諸元調査より）を採用する。

○新設施設

・現　　況

該　当　な　し

・なかりせば

該　当　な　し

・ありせば

該　当　な　し

</td><td></td></tr>
</table>

本 事 業 に よ り 発 生 す る 便 益 の 整 理

安養寺（狐谷溜）地区

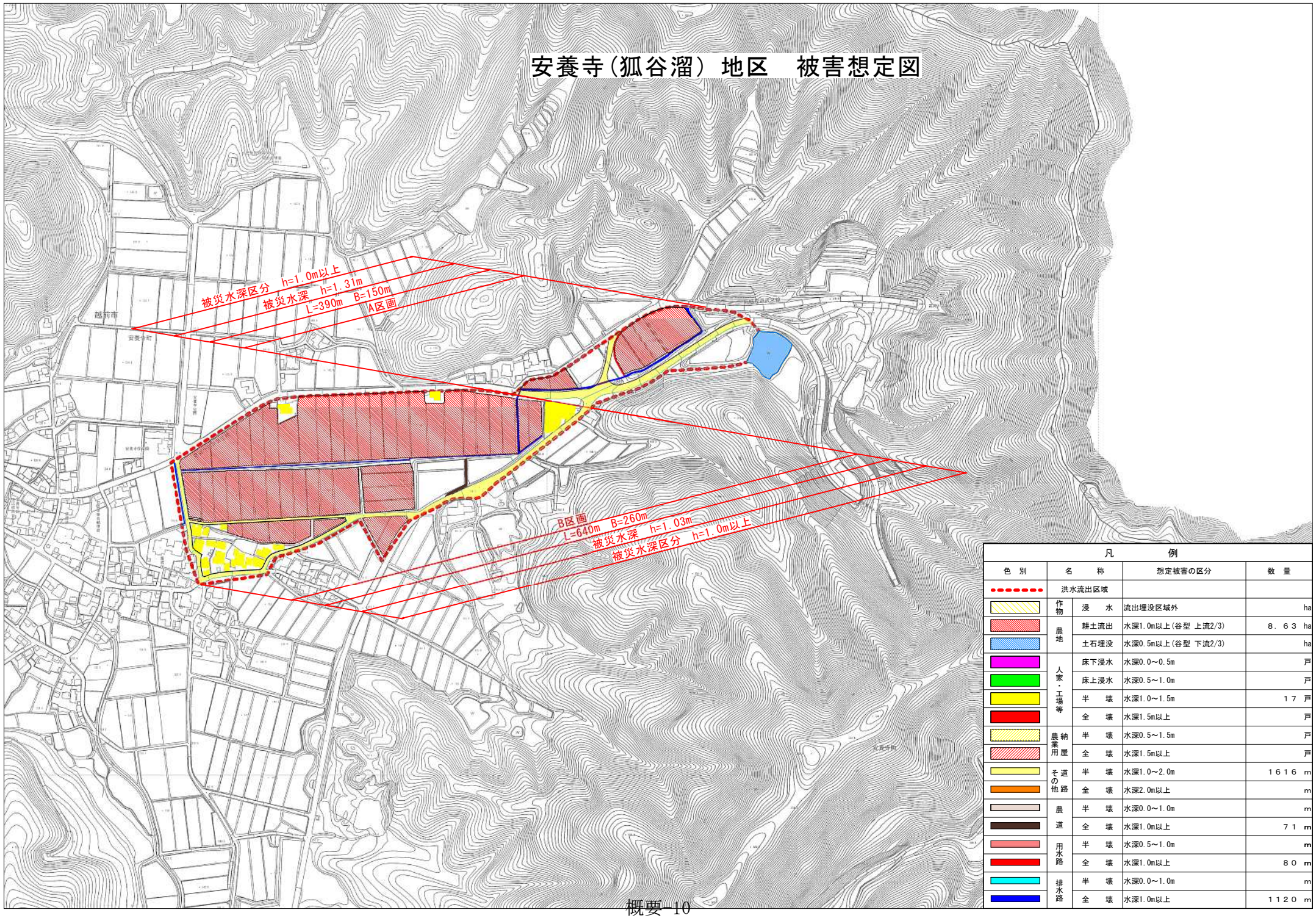
項　　目	内　　容	備　　考
営農経費 節減効果	**1．諸 元 の 整 理** **【 労 務 単 価 】** 北陸農政局農村振興部通達資料に準拠した。 （「令和7年度県営及び団体営土地改良事業計画の経済効果測定のための標準値について」参照） 労務単価　1,780 円/hr **【 機械稼動単価 】** 福井県土地改良事業諸元調査に基づき、地区の農業経営状況を考慮して算定した。 **2．本地区において発生する効果** **【新設・機能向上効果】** 該当事項なし **【更　新　効　果】** **○用排水管理時間の増減** **・概　　要** 「用排水なかりせば」において用排水施設の機能がなくなることにより、用排水管理に要する労働時間が変動するため、当該効果を計上する。 **・効果発生面積** 用排水受益における現況作付け面積とする。ただし、純益率及び所得率の標準値を使用していない作物については対象外とする。	

本事業により発生する便益の整理

安養寺（狐谷溜）地区

項目	内容	備考
災害防止効果	**<u>1．災害発生要因</u>** 当該施設は、堤体の耐震アウト、基準値以上の漏水発生、斜樋ゲートの開閉不能が問題となっている。この施設状態において地震が発生した際、堤体の崩壊・洪水が発生し、下流農地及び住宅に被害が及ぶため、その被害額を算定する。 **○越流量** 越流量　144.0 m3/s	

安養寺(狐谷溜) 地区　被害想定図



凡　　例

色　別	名　　称		想定被害の区分	数　量
	洪水流出区域			
	作物	浸　水	流出埋没区域外	ha
	農地	耕土流出	水深1.0m以上(谷型 上流2/3)	８．６３ ha
		土石埋没	水深0.5m以上(谷型 下流2/3)	ha
	人家・工場等	床下浸水	水深0.0～0.5m	戸
		床上浸水	水深0.5～1.0m	戸
		半　壊	水深1.0～1.5m	１７ 戸
		全　壊	水深1.5m以上	戸
	農業用納屋	半　壊	水深0.5～1.5m	戸
		全　壊	水深1.5m以上	戸
	その他 道路	半　壊	水深1.0～2.0m	１６１６ m
		全　壊	水深2.0m以上	m
	農道	半　壊	水深0.0～1.0m	m
		全　壊	水深1.0m以上	７１ m
	用水路	半　壊	水深0.5～1.0m	m
		全　壊	水深1.0m以上	８０ m
	排水路	半　壊	水深0.0～1.0m	m
		全　壊	水深1.0m以上	１１２０ m

比率
益還
便償
総得
用所
費び
総及

１．総費用総便益比及び所得償還率の総括

（第1表）

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	③＝①＋②	332,883 千円	
当該事業による費用	①	62,887 千円	
その他費用(関連事業費+資産価額+再整備費)	②	269,996 千円	
年償還額	④	－ 千円/年	
うち機能向上分	④'	－ 千円/年	
年総効果（便益）額	⑤	24,902 千円	
現況年総農業所得額	⑥	4,199 千円	
年総増加農業所得額	⑦	－ 千円	
評価期間（当該事業の工事期間+40 年）		44 年	工事期間 4 年 ＋ 40 年 間
割引率		0.04	
総便益額（現在価値化）	⑧	511,707 千円	
総費用総便益比	⑨＝⑧÷③	1.53	≧1.00
総所得償還率	⑩＝④ ÷⑥×100	－ %	≦20.0%
増加所得償還率	⑪＝④' ÷⑦×100	－ %	≦40.0%

２．総 費 用 の 総 括

（単位：千円）（第2表）

区分・施設番号・整備区分・施設名 ＼ 費用区分			事業着工時点の資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間における予防保全・再整備費 ④	評価期間修了時点の資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④−⑤	備考
当該事業	1-1	ため池	−	−	−	−	−	−	
	2	提体	−	45,071	−	−	3,917	41,154	
	3	洪水吐	−	4,381	−	−	861	3,520	
	4	取水施設	−	13,435	−	−	2,642	10,793	
	5	末端排水路	8,724	−	−	275,476	6,784	277,416	
	計		8,724	62,887	−	275,476	14,204	332,883	
その他造成施設									
	計								
合計			8,724	62,887	−	275,476	14,204	332,883	

３．年総効果額及び年総増加農業所得額の総括

（第3表）

区分 効果項目	年総効果 （便益）額	年増加農業所得額	うち機能向上分	備考
食糧の安定供給の確保に関する効果	8,642	－	－	
作物生産効果	9,409	－	－	
営農経費節減効果	△767	－	－	
農業の持続的発展に関する効果	6,373	－	－	
災害防止効果（農業資産）	6,373	－	－	
農村の振興に関する効果	6,612	－	－	
災害防止効果（一般資産）	6,612	－	－	
多面的機能の発揮に関する効果	1,505	－	－	
災害防止効果（公共資産）	1,394	－	－	
景観・環境保全効果	111	－	－	
その他効果	1,770	－	－	
国産農産物安定供給効果	1,770	－	－	
合計	24,902	－	－	

４．農家負担年償還額の総括

（第4表）

事業名		事業費 A	負担率（%） 国	県	市町	地元 B	農家負担額 C=A×B	年賦金率 D	農家負担 年償還額 E=C×D	備考
当該事業	ため池等整備事業（防災重点緊急整備型）	145,000	55.0	35.0	10.0	－	－			
	計	145,000					－		－	
関連事業										
	計	－					－		－	
合計		145,000					－		－	

５．総便益算出表

（第5表）

評価期間	年度	割引率(1+割引率)	経過年	作物生産効果						営農経費節減効果						維持管理費節減効果						災害防止効果（農業資産）					
				更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計	
				年効果額 B (千円)	年効果額 C (千円)	効果発生割合 D (%)	年発生効果額 E=C*D (千円)	年効果額 F=B+E (千円)	同左割引後 G=F/A (千円)	年効果額 B (千円)	年効果額 C (千円)	効果発生割合 D (%)	年発生効果額 E=C*D (千円)	年効果額 F=B+E (千円)	同左割引後 G=F/A (千円)	年効果額 B (千円)	年効果額 C (千円)	効果発生割合 D (%)	年発生効果額 E=C*D (千円)	年効果額 F=B+E (千円)	同左割引後 G=F/A (千円)	年効果額 B (千円)	年効果額 C (千円)	効果発生割合 D (%)	年発生効果額 E=C*D (千円)	年効果額 F=B+E (千円)	同左割引後 G=F/A (千円)
0	R.7	1.0000	0																								
1	R.8	1.0400	1	9,409	－	－	－	9,409	9,047	△767	－	-	－	△767	△738	－	－	－	－			6,373	－	－	－	6,373	6,128
2	R.9	1.0816	2	9,409	－	35.0	－	9,409	8,699	△767	－	35.0	－	△767	△709	－	－	35.0	－			6,373	－	35.0	－	6,373	5,892
3	R.10	1.1249	3	9,409	－	70.0	－	9,409	8,364	△767	－	70.0	－	△767	△682	－	－	70.0	－			6,373	－	70.0	－	6,373	5,665
4	R.11	1.1699	4	9,409	－	100.0	－	9,409	8,043	△767	－	100.0	－	△767	△656	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	5,447
5	R.12	1.2167	5	9,409	－	100.0	－	9,409	7,733	△767	－	100.0	－	△767	△630	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	5,238
6	R.13	1.2653	6	9,409	－	100.0	－	9,409	7,436	△767	－	100.0	－	△767	△606	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	5,037
7	R.14	1.3159	7	9,409	－	100.0	－	9,409	7,150	△767	－	100.0	－	△767	△583	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	4,843
8	R.15	1.3686	8	9,409	－	100.0	－	9,409	6,875	△767	－	100.0	－	△767	△560	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	4,657
9	R.16	1.4233	9	9,409	－	100.0	－	9,409	6,611	△767	－	100.0	－	△767	△539	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	4,478
10	R.17	1.4802	10	9,409	－	100.0	－	9,409	6,357	△767	－	100.0	－	△767	△518	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	4,305
11	R.18	1.5395	11	9,409	－	100.0	－	9,409	6,112	△767	－	100.0	－	△767	△498	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	4,140
12	R.19	1.6010	12	9,409	－	100.0	－	9,409	5,877	△767	－	100.0	－	△767	△479	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,981
13	R.20	1.6651	13	9,409	－	100.0	－	9,409	5,651	△767	－	100.0	－	△767	△461	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,827
14	R.21	1.7317	14	9,409	－	100.0	－	9,409	5,433	△767	－	100.0	－	△767	△443	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,680
15	R.22	1.8009	15	9,409	－	100.0	－	9,409	5,225	△767	－	100.0	－	△767	△426	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,539
16	R.23	1.8730	16	9,409	－	100.0	－	9,409	5,023	△767	－	100.0	－	△767	△410	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,403
17	R.24	1.9479	17	9,409	－	100.0	－	9,409	4,830	△767	－	100.0	－	△767	△394	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,272
18	R.25	2.0258	18	9,409	－	100.0	－	9,409	4,645	△767	－	100.0	－	△767	△379	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,146
19	R.26	2.1068	19	9,409	－	100.0	－	9,409	4,466	△767	－	100.0	－	△767	△364	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	3,025
20	R.27	2.1911	20	9,409	－	100.0	－	9,409	4,294	△767	－	100.0	－	△767	△350	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,909
21	R.28	2.2788	21	9,409	－	100.0	－	9,409	4,129	△767	－	100.0	－	△767	△337	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,797
22	R.29	2.3699	22	9,409	－	100.0	－	9,409	3,970	△767	－	100.0	－	△767	△324	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,689
23	R.30	2.4647	23	9,409	－	100.0	－	9,409	3,818	△767	－	100.0	－	△767	△311	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,586
24	R.31	2.5633	24	9,409	－	100.0	－	9,409	3,671	△767	－	100.0	－	△767	△299	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,486
25	R.32	2.6658	25	9,409	－	100.0	－	9,409	3,530	△767	－	100.0	－	△767	△288	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,391
26	R.33	2.7725	26	9,409	－	100.0	－	9,409	3,394	△767	－	100.0	－	△767	△277	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,299
27	R.34	2.8834	27	9,409	－	100.0	－	9,409	3,263	△767	－	100.0	－	△767	△266	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,210
28	R.35	2.9987	28	9,409	－	100.0	－	9,409	3,138	△767	－	100.0	－	△767	△256	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,125
29	R.36	3.1187	29	9,409	－	100.0	－	9,409	3,017	△767	－	100.0	－	△767	△246	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	2,043
30	R.37	3.2434	30	9,409	－	100.0	－	9,409	2,901	△767	－	100.0	－	△767	△236	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,965
31	R.38	3.3731	31	9,409	－	100.0	－	9,409	2,789	△767	－	100.0	－	△767	△227	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,889
32	R.39	3.5081	32	9,409	－	100.0	－	9,409	2,682	△767	－	100.0	－	△767	△219	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,817
33	R.40	3.6484	33	9,409	－	100.0	－	9,409	2,579	△767	－	100.0	－	△767	△210	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,747
34	R.41	3.7943	34	9,409	－	100.0	－	9,409	2,480	△767	－	100.0	－	△767	△202	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,680
35	R.42	3.9461	35	9,409	－	100.0	－	9,409	2,384	△767	－	100.0	－	△767	△194	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,615
36	R.43	4.1039	36	9,409	－	100.0	－	9,409	2,293	△767	－	100.0	－	△767	△187	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,553
37	R.44	4.2681	37	9,409	－	100.0	－	9,409	2,204	△767	－	100.0	－	△767	△180	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,493
38	R.45	4.4388	38	9,409	－	100.0	－	9,409	2,120	△767	－	100.0	－	△767	△173	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,436
39	R.46	4.6164	39	9,409	－	100.0	－	9,409	2,038	△767	－	100.0	－	△767	△166	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,381
40	R.47	4.8010	40	9,409	－	100.0	－	9,409	1,960	△767	－	100.0	－	△767	△160	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,327
41	R.48	4.9931	41	9,409	－	100.0	－	9,409	1,884	△767	－	100.0	－	△767	△154	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,276
42	R.49	5.1928	42	9,409	－	100.0	－	9,409	1,812	△767	－	100.0	－	△767	△148	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,227
43	R.50	5.4005	43	9,409	－	100.0	－	9,409	1,742	△767	－	100.0	－	△767	△142	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,180
44	R.51	5.6165	44	9,409	－	100.0	－	9,409	1,675	△767	－	100.0	－	△767	△137	－	－	100.0	－			6,373	－	100.0	－	6,373	1,135
合　計(総便益額)									193,344						△15,764												130,959

５．総便益算出表

（第5表）

評価期間	年度	割引率(1+割引率)	経過年	災害防止効果（一般資産）						災害防止効果（公共資産）						景観・環境保全効果						国産農産物安定供給効果						割引後効果額合計
				更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		更新分に係る効果	新設及び機能向上分に係る効果			計		
				年効果額B（千円）	年効果額C（千円）	効果発生割合D（%）	年発生効果額E=C*D（千円）	年効果額F=B+E（千円）	同左割引後G=F/A（千円）	年効果額B（千円）	年効果額C（千円）	効果発生割合D（%）	年発生効果額E=C*D（千円）	年効果額F=B+E（千円）	同左割引後G=F/A（千円）	年効果額B（千円）	年効果額C（千円）	効果発生割合D（%）	年発生効果額E=C*D（千円）	年効果額F=B+E（千円）	同左割引後G=F/A（千円）	年効果額B（千円）	年効果額C（千円）	効果発生割合D（%）	年発生効果額E=C*D（千円）	年効果額F=B+E（千円）	同左割引後G=F/A（千円）	合計H=ΣG（千円）
0	R.7	1.0000	0																									
1	R.8	1.0400	1	6,612	—	—	—	6,612	6,358	1,394	—	—	—	1,394	1,340	111	—	0.0	—	111	107	1,770	—	—	—	1,770	1,702	
2	R.9	1.0816	2	6,612	—	35.0	—	6,612	6,113	1,394	—	35.0	—	1,394	1,289	111	—	35.0	—	111	103	1,770	—	35.0	—	1,770	1,636	
3	R.10	1.1249	3	6,612	—	70.0	—	6,612	5,878	1,394	—	70.0	—	1,394	1,239	111	—	70.0	—	111	99	1,770	—	70.0	—	1,770	1,573	
4	R.11	1.1699	4	6,612	—	100.0	—	6,612	5,652	1,394	—	100.0	—	1,394	1,192	111	—	100.0	—	111	95	1,770	—	100.0	—	1,770	1,513	
5	R.12	1.2167	5	6,612	—	100.0	—	6,612	5,434	1,394	—	100.0	—	1,394	1,146	111	—	100.0	—	111	91	1,770	—	100.0	—	1,770	1,455	
6	R.13	1.2653	6	6,612	—	100.0	—	6,612	5,226	1,394	—	100.0	—	1,394	1,102	111	—	100.0	—	111	88	1,770	—	100.0	—	1,770	1,399	
7	R.14	1.3159	7	6,612	—	100.0	—	6,612	5,025	1,394	—	100.0	—	1,394	1,059	111	—	100.0	—	111	84	1,770	—	100.0	—	1,770	1,345	
8	R.15	1.3686	8	6,612	—	100.0	—	6,612	4,831	1,394	—	100.0	—	1,394	1,019	111	—	100.0	—	111	81	1,770	—	100.0	—	1,770	1,293	
9	R.16	1.4233	9	6,612	—	100.0	—	6,612	4,646	1,394	—	100.0	—	1,394	979	111	—	100.0	—	111	78	1,770	—	100.0	—	1,770	1,244	
10	R.17	1.4802	10	6,612	—	100.0	—	6,612	4,467	1,394	—	100.0	—	1,394	942	111	—	100.0	—	111	75	1,770	—	100.0	—	1,770	1,196	
11	R.18	1.5395	11	6,612	—	100.0	—	6,612	4,295	1,394	—	100.0	—	1,394	905	111	—	100.0	—	111	72	1,770	—	100.0	—	1,770	1,150	
12	R.19	1.6010	12	6,612	—	100.0	—	6,612	4,130	1,394	—	100.0	—	1,394	871	111	—	100.0	—	111	69	1,770	—	100.0	—	1,770	1,106	
13	R.20	1.6651	13	6,612	—	100.0	—	6,612	3,971	1,394	—	100.0	—	1,394	837	111	—	100.0	—	111	67	1,770	—	100.0	—	1,770	1,063	
14	R.21	1.7317	14	6,612	—	100.0	—	6,612	3,818	1,394	—	100.0	—	1,394	805	111	—	100.0	—	111	64	1,770	—	100.0	—	1,770	1,022	
15	R.22	1.8009	15	6,612	—	100.0	—	6,612	3,671	1,394	—	100.0	—	1,394	774	111	—	100.0	—	111	62	1,770	—	100.0	—	1,770	983	
16	R.23	1.8730	16	6,612	—	100.0	—	6,612	3,530	1,394	—	100.0	—	1,394	744	111	—	100.0	—	111	59	1,770	—	100.0	—	1,770	945	
17	R.24	1.9479	17	6,612	—	100.0	—	6,612	3,394	1,394	—	100.0	—	1,394	716	111	—	100.0	—	111	57	1,770	—	100.0	—	1,770	909	
18	R.25	2.0258	18	6,612	—	100.0	—	6,612	3,264	1,394	—	100.0	—	1,394	688	111	—	100.0	—	111	55	1,770	—	100.0	—	1,770	874	
19	R.26	2.1068	19	6,612	—	100.0	—	6,612	3,138	1,394	—	100.0	—	1,394	662	111	—	100.0	—	111	53	1,770	—	100.0	—	1,770	840	
20	R.27	2.1911	20	6,612	—	100.0	—	6,612	3,018	1,394	—	100.0	—	1,394	636	111	—	100.0	—	111	51	1,770	—	100.0	—	1,770	808	
21	R.28	2.2788	21	6,612	—	100.0	—	6,612	2,902	1,394	—	100.0	—	1,394	612	111	—	100.0	—	111	49	1,770	—	100.0	—	1,770	777	
22	R.29	2.3699	22	6,612	—	100.0	—	6,612	2,790	1,394	—	100.0	—	1,394	588	111	—	100.0	—	111	47	1,770	—	100.0	—	1,770	747	
23	R.30	2.4647	23	6,612	—	100.0	—	6,612	2,683	1,394	—	100.0	—	1,394	566	111	—	100.0	—	111	45	1,770	—	100.0	—	1,770	718	
24	R.31	2.5633	24	6,612	—	100.0	—	6,612	2,579	1,394	—	100.0	—	1,394	544	111	—	100.0	—	111	43	1,770	—	100.0	—	1,770	691	
25	R.32	2.6658	25	6,612	—	100.0	—	6,612	2,480	1,394	—	100.0	—	1,394	523	111	—	100.0	—	111	42	1,770	—	100.0	—	1,770	664	
26	R.33	2.7725	26	6,612	—	100.0	—	6,612	2,385	1,394	—	100.0	—	1,394	503	111	—	100.0	—	111	40	1,770	—	100.0	—	1,770	638	
27	R.34	2.8834	27	6,612	—	100.0	—	6,612	2,293	1,394	—	100.0	—	1,394	483	111	—	100.0	—	111	38	1,770	—	100.0	—	1,770	614	
28	R.35	2.9987	28	6,612	—	100.0	—	6,612	2,205	1,394	—	100.0	—	1,394	465	111	—	100.0	—	111	37	1,770	—	100.0	—	1,770	590	
29	R.36	3.1187	29	6,612	—	100.0	—	6,612	2,120	1,394	—	100.0	—	1,394	447	111	—	100.0	—	111	36	1,770	—	100.0	—	1,770	568	
30	R.37	3.2434	30	6,612	—	100.0	—	6,612	2,039	1,394	—	100.0	—	1,394	430	111	—	100.0	—	111	34	1,770	—	100.0	—	1,770	546	
31	R.38	3.3731	31	6,612	—	100.0	—	6,612	1,960	1,394	—	100.0	—	1,394	413	111	—	100.0	—	111	33	1,770	—	100.0	—	1,770	525	
32	R.39	3.5081	32	6,612	—	100.0	—	6,612	1,885	1,394	—	100.0	—	1,394	397	111	—	100.0	—	111	32	1,770	—	100.0	—	1,770	505	
33	R.40	3.6484	33	6,612	—	100.0	—	6,612	1,812	1,394	—	100.0	—	1,394	382	111	—	100.0	—	111	30	1,770	—	100.0	—	1,770	485	
34	R.41	3.7943	34	6,612	—	100.0	—	6,612	1,743	1,394	—	100.0	—	1,394	367	111	—	100.0	—	111	29	1,770	—	100.0	—	1,770	466	
35	R.42	3.9461	35	6,612	—	100.0	—	6,612	1,676	1,394	—	100.0	—	1,394	353	111	—	100.0	—	111	28	1,770	—	100.0	—	1,770	449	
36	R.43	4.1039	36	6,612	—	100.0	—	6,612	1,611	1,394	—	100.0	—	1,394	340	111	—	100.0	—	111	27	1,770	—	100.0	—	1,770	431	
37	R.44	4.2681	37	6,612	—	100.0	—	6,612	1,549	1,394	—	100.0	—	1,394	327	111	—	100.0	—	111	26	1,770	—	100.0	—	1,770	415	
38	R.45	4.4388	38	6,612	—	100.0	—	6,612	1,490	1,394	—	100.0	—	1,394	314	111	—	100.0	—	111	25	1,770	—	100.0	—	1,770	399	
39	R.46	4.6164	39	6,612	—	100.0	—	6,612	1,432	1,394	—	100.0	—	1,394	302	111	—	100.0	—	111	24	1,770	—	100.0	—	1,770	383	
40	R.47	4.8010	40	6,612	—	100.0	—	6,612	1,377	1,394	—	100.0	—	1,394	290	111	—	100.0	—	111	23	1,770	—	100.0	—	1,770	369	
41	R.48	4.9931	41	6,612	—	100.0	—	6,612	1,324	1,394	—	100.0	—	1,394	279	111	—	100.0	—	111	22	1,770	—	100.0	—	1,770	354	
42	R.49	5.1928	42	6,612	—	100.0	—	6,612	1,273	1,394	—	100.0	—	1,394	268	111	—	100.0	—	111	21	1,770	—	100.0	—	1,770	341	
43	R.50	5.4005	43	6,612	—	100.0	—	6,612	1,224	1,394	—	100.0	—	1,394	258	111	—	100.0	—	111	21	1,770	—	100.0	—	1,770	328	
44	R.51	5.6165	44	6,612	—	100.0	—	6,612	1,177	1,394	—	100.0	—	1,394	248	111	0	100.0	0	111	20	1,770	—	100.0	—	1,770	315	
合計(総便益額)									135,868						28,644						2,282						36,374	511,707

６．現況年総農業所得額の算定

（第6表）

計画地目	作物名	現況 作付面積 A (ha)	現況単収 B (kg/10a)	生産量 C=A*B (t)	生産物 単価 D (円/kg)	粗収益額 E=C*D (千円/t)	所得率 F (%)	現況年 総農業 所得額 G=E*F (千円)
田	水稲	13.9	516	71.7	254	18,212	23	4,189
田（畑利用）	大麦	0.3	286	0.9	53	48	21	10
	そば	0.5	40	0.2	268	54	－	－
	小計	14.7				102		10
普通畑								
	小計	－				－		－
合計		14.7				18,314		4,199

総　費　用　の　算　出

（１）対象施設の概要整理

（第1表）

区分	施設番号	施　設　名	管理団体名	設置年度	供用開始年度	大改修年度	施　設　の　概　要 構造・数量・機能	耐用年数	整備区分及び内容 事業区分	整備区分	整　備　理　由	事業主体	予防保全対策
団体営造成	1-1	ため池	白山安養寺土地改良区	S.48	S.49	－	ため池 V=11,000m3	80	関連施設	既設利用	－	団体営	
県営造成	2	提体	白山安養寺土地改良区	R.11	R.12	－	提体補強+張ブロック V=3,448m3	80	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営	
県営造成	3	洪水吐	白山安養寺土地改良区	R.11	R.12	－	正面越流型	40	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営	
県営造成	4	取水施設	白山安養寺土地改良区	R.11	R.12	－	斜樋、底樋、取水ゲート	40	関連施設	既設利用	耐震補強及び老朽化対策	県営	
団体営造成	5	末端排水路	白山安養寺土地改良区	S.48	S.49	－	BF-600 L=1,325m	30	関連施設	既設利用		団体営	
											－		
											－		
											－		
											－		
											－		
											－		
											－		
											－		
											－		

（2）施設建設費・当該事業費・関連事業費及び再整備費等の整理及び現在価値化

（第2表）

施設番号		項目	検索																基準年				評価期間：一定期間（40年）		
																			（評価年）	当該着工			当該完了		
		年度No				103	104	105	106	107	108	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164
		和暦				S.45	S.46	S.47	S.48	S.49	S.50	H.30	R.1	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13
		和暦				S.45	S.46	S.47	S.48	S.49	S.50	･･･	･･･	･･･	･･･	･･･	･･･	･･･	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	･･･	･･･
		西暦				1970	1971	1972	1973	1974	1975	･･･	･･･	･･･	･･･	･･･	･･･	･･･	2025	2026	2027	2028	2029	･･･	･･･
		西暦																							
施設名		支出済費用換算係数				4.8430	4.5830	4.2710	3.5670	2.7600	2.6040	1.2570	1.2360	1.2480	1.1560	1.0430	1.0180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝	割引率				0.1157	0.1203	0.1251	0.1301	0.1353	0.1407	0.7599	0.7903	0.8219	0.8548	0.8890	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653
	R.7年度	経過年数				-55	-54	-53	-52	-51	-50	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6
1-1	費用区分		費区1-1																						
ため池	予防保全					－	－	－	－	－	－														
	決算額	工事費（償却施設）	決却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		用地費	決用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	決他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額	工事費（償却施設）	換却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		用地費	換用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	換他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	決算額	決計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		換算額	換計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		割引後	割計		集計1-1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2	費用区分		費区2																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業		
提体	予防保全																								
	決算額	工事費（償却施設）	決却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10,873	10,491	10,491	10,491	－	－
		用地費	決用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	273	273	273	－	－
		その他	決他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2,209	2,209	2,209	－	－
	換算額	工事費（償却施設）	換却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10,873	10,491	10,491	10,491	－	－
		用地費	換用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	273	273	273	－	－
		その他	換他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2,209	2,209	2,209	－	－
	計	決算額	決計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10,873	12,973	12,973	12,973	－	－
		換算額	換計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10,873	12,973	12,973	12,973	－	－
		割引後	割計		集計2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10,455	11,994	11,533	11,089	－	－
3	費用区分		費区3																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業		
洪水吐	予防保全					－	－	－	－																
	決算額	工事費（償却施設）	決却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1,073	1,255	1,255	1,255	－	－
		用地費	決用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	決他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額	工事費（償却施設）	換却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1,073	1,255	1,255	1,255	－	－
		用地費	換用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	換他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	決算額	決計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1,073	1,255	1,255	1,255	－	－
		換算額	換計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1,073	1,255	1,255	1,255	－	－
		割引後	割計		集計3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1,032	1,160	1,116	1,073	－	－
4	費用区分		費区4																	当該事業	当該事業	当該事業	当該事業		
取水施設	予防保全																								
	決算額	工事費（償却施設）	決却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,300	3,846	3,846	3,846	－	－
		用地費	決用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	決他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額	工事費（償却施設）	換却			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,300	3,846	3,846	3,846	－	－
		用地費	換用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	換他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	決算額	決計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,300	3,846	3,846	3,846	－	－
		換算額	換計			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,300	3,846	3,846	3,846	－	－
		割引後	割計		集計4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3,173	3,556	3,419	3,287	－	－

（2）施設建設費・当該事業費・関連事業費及び再整備費等の整理及び現在価値化

（第2表）

施設番号	項目	評価期間：一定期間（40年）																					
	年度No	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186
	和暦	R.14	R.15	R.16	R.17	R.18	R.19	R.20	R.21	R.22	R.23	R.24	R.25	R.26	R.27	R.28	R.29	R.30	R.31	R.32	R.33	R.34	R.35
	和暦	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
	西暦	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
	西暦																						
施設名	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝ 割引率	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987
	R.7年度 経過年数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1-1 ため池	費用区分																						
	予防保全																						
	決算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 決算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 換算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 割引後	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2 提体	費用区分																						
	予防保全																						
	決算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 決算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 換算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 割引後	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
3 洪水吐	費用区分																						
	予防保全																						
	決算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 決算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 換算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 割引後	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
4 取水施設	費用区分																						
	予防保全																						
	決算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	決算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 工事費（償却施設）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 用地費	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額 その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 決算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 換算額	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計 割引後	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（2）施設建設費・当該事業費・関連事業費及び再整備費等の整理及び現在価値化

（第2表）

施設番号	項目	評価期間：一定期間（40年）															評価完了	合計				
	年度No	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202					
	和暦	R.36	R.37	R.38	R.39	R.40	R.41	R.42	R.43	R.44	R.45	R.46	R.47	R.48	R.49	R.50	R.51					
	和暦	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	R.51					
	西暦	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	2069					
	西暦																	施設建設	施設整備	当該事業	関連事業	再整備
施設名	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	施設建設費	施設整備費	当該事業費	関連事業費	評価期間における再整備費
	基準年度＝R.7年度 割引率	3.1187	3.2434	3.3731	3.5081	3.6484	3.7943	3.9461	4.1039	4.2681	4.3388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928	5.4005	5.6165					
	経過年数	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44					
1-1 ため池	費用区分																					
	予防保全																					
	決算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	決算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	決算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計 決算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計 換算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計 割引後	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
2 提体	費用区分																					
	予防保全																					
	決算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	42,346	–	–
	決算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	819	–	–
	決算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6,627	–	–
	換算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	42,346	–	–
	換算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	819	–	–
	換算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6,627	–	–
	計 決算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	49,792	–	–
	計 換算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	49,792	–	–
	計 割引後	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	45,071		
3 洪水吐	費用区分																再整備					
	予防保全																					
	決算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4,838	–	–	4,838	–	–
	決算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	決算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4,838	–	–	4,838	–	–
	換算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計 決算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4,838	–	–	4,838	–	–
	計 換算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4,838	–	–	4,838	–	–
	計 割引後	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	861			4,381	–	–
4 取水施設	費用区分																再整備					
	予防保全																					
	決算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	14,838	–	–	14,838	–	–
	決算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	決算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 工事費（償却施設）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	14,838	–	–	14,838	–	–
	換算額 用地費	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	換算額 その他	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計 決算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	14,838	–	–	14,838	–	–
	計 換算額	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	14,838	–	–	14,838	–	–
	計 割引後	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2,642			13,435	–	–

（2）施設建設費・当該事業費・関連事業費及び再整備費等の整理及び現在価値化 （第2表）

施設番号		項目	検索																基準年				評価期間：一定期間（40年）		
																			（評価年）	当該着工			当該完了		
		年度No				103	104	105	106	107	108	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164
		和暦				S.45	S.46	S.47	S.48	S.49	S.50	H.30	R.1	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13
		和暦				S.45	S.46	S.47	S.48	S.49	S.50	…	…	…	…	…	…	…	R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	…	…
		西暦				1970	1971	1972	1973	1974	1975	…	…	…	…	…	…	…	2025	2026	2027	2028	2029	…	…
		西暦																							
施設名		支出済費用換算係数				4.8430	4.5830	4.2710	3.5670	2.7600	2.6040	1.2570	1.2360	1.2480	1.1560	1.0430	1.0180	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝	割引率				0.1157	0.1203	0.1251	0.1301	0.1353	0.1407	0.7599	0.7903	0.8219	0.8548	0.8890	0.9246	0.9615	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653
	R.7年度	経過年数				-55	-54	-53	-52	-51	-50	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6
5		費用区分	費区5			施設建設	施設建設	施設建設	施設建設															再整備	
		予防保全				－	－	－	－																
末端排水路	決算額	工事費（償却施設）	決却			4,490	2,410	2,520	3,050	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	54,432	－
		用地費	決用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	決他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	換算額	工事費（償却施設）	換却			21,745	11,045	10,763	10,879	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	54,432	－
		用地費	換用			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		その他	換他			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	決算額	決計			4,490	2,410	2,520	3,050	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	54,432	－
		換算額	換計			21,745	11,045	10,763	10,879	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	54,432	－
		割引後	割計		集計5	187,943	91,812	86,035	83,620	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	44,737	－
合計		決算額	決計			4,490	2,410	2,520	3,050	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15,246	18,074	18,074	18,074	54,432	－
		換算額	換計			21,745	11,045	10,763	10,879	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15,246	18,074	18,074	18,074	54,432	－
		割引後	割計			187,943	91,812	86,035	83,620	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	14,660	16,710	16,068	15,449	44,737	－

（2）施設建設費・当該事業費・関連事業費及び再整備費等の整理及び現在価値化

（第2表）

項目		評価期間：一定期間（40年）																					
施設番号	年度No	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186
	和暦	R. 14	R. 15	R. 16	R. 17	R. 18	R. 19	R. 20	R. 21	R. 22	R. 23	R. 24	R. 25	R. 26	R. 27	R. 28	R. 29	R. 30	R. 31	R. 32	R. 33	R. 34	R. 35
	和暦	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	西暦	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	西暦																						
施設名	支出済費用換算係数	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝ 割引率	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647	2.5633	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987
	R.7年度 経過年数	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
5	費用区分																						
末端排水路	予防保全										—												
	決算額 工事費（償却施設）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	決算額 用地費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	決算額 その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	換算額 工事費（償却施設）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	換算額 用地費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	換算額 その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計 決算額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計 換算額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計 割引後	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	決算額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	換算額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	割引後	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（2）施設建設費・当該事業費・関連事業費及び再整備費等の整理及び現在価値化

（第2表）

施設番号	項目	評価期間：一定期間（40年）																合計				
																	評価完了					
	年度No	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202					
	和暦	R. 36	R. 37	R. 38	R. 39	R. 40	R. 41	R. 42	R. 43	R. 44	R. 45	R. 46	R. 47	R. 48	R. 49	R. 50	R. 51					
	和暦	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	R. 51					
	西暦	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	2069					
	西暦																					
施設名	支出済費用換算係数	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	1. 0000	施設建設	施設整備	当該事業	関連事業	再整備
	基準年度＝ 割引率	3. 1187	3. 2434	3. 3731	3. 5081	3. 6484	3. 7943	3. 9461	4. 1039	4. 2681	4. 4388	4. 6164	4. 8010	4. 9931	5. 1928	5. 4005	5. 6165	施設建設費	施設整備費	当該事業費	関連事業費	評価期間における再整備費
	R. 7年度 経過年数	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44					
5	費用区分							再整備														
末端排水路	予防保全																					
	決算額 工事費（償却施設）	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12, 470	—	—	—	163, 296
	決算額 用地費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	決算額 その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	換算額 工事費（償却施設）	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	190, 240
	換算額 用地費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	換算額 その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計 決算額	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12, 470	—	—	—	163, 296
	計 換算額	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	190, 240
	計 割引後	—	—	—	—	—	—	13, 794	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	275, 476
合計	決算額	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	—	—	—	—	—	19, 676	12, 470	—	69, 468	—	163, 296
	換算額	—	—	—	—	—	—	54, 432	—	—	—	—	—	—	—	—	19, 676	54, 432	—	69, 468	—	190, 240
	割引後	—	—	—	—	—	—	13, 794	—	—	—	—	—	—	—	—	3, 503			62, 887	—	275, 476

（３）資産価額の整理及び現在価値化

（第3表）

施設番号	項目																		
	年度No.			103	104	105	106	107	108	109	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
	和暦			S.45	S.46	S.47	S.48	S.49	S.50	S.51	S.49	S.50	S.51	S.52	S.53	S.54	S.55	S.56	S.57	S.58	S.59
	西暦			1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984
施設名	支出済費用換算係数			4.8430	4.5830	4.2710	3.5670	2.7600	2.6040	2.4660	2.7600	2.6040	2.4660	2.3490	2.2530	2.0660	1.8700	1.8300	1.7870	1.7810	1.7700
	基準年度＝	割引率		0.1157	0.1203	0.1251	0.1301	0.1353	0.1407	0.1463	0.1353	0.1407	0.1463	0.1522	0.1583	0.1646	0.1712	0.1780	0.1852	0.1926	0.2003
	R.7年度	経過年数		-55	-54	-53	-52	-51	-50	-49	-51	-50	-49	-48	-47	-46	-45	-44	-43	-42	-41
1-1	費用区分																				
ため池	全体	耐用年数	80年																		
		償却施設費	換算額																		
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費	換算額																		
	用地費						—														
	計			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	費用区分																				
提体	全体	耐用年数	80年																		
		償却施設費	換算額																		
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費	換算額																		
	用地費																				
	計			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	費用区分																				
洪水吐	全体	耐用年数	40年																		
		償却施設費	換算額																		
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費	換算額																		
	用地費																				
	計			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	費用区分																				
取水施設	全体	耐用年数	40年																		
		償却施設費	換算額																		
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費	換算額																		
	用地費																				
	計			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	費用区分			施設建設	施設建設	施設建設	施設建設														
末端排水路	全体	耐用年数	30年				30	29	28	27	29	28	27	23	22	21	20	19	18	17	16
		償却施設費	換算額				54,432	52,618	50,804	48,990	52,619	50,805	48,991	41,733	39,919	38,105	36,290	34,476	32,661	30,847	29,032
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費	換算額																		
	用地費						—														
	計			—	—	—	54,432	52,618	50,804	48,990	52,619	50,805	48,991	41,733	39,919	38,105	36,290	34,476	32,661	30,847	29,032

（３）資産価額の整理及び現在価値化

（第3表）

施設番号	項目																					
	年度No		118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138
	和暦		S.60	S.61	S.62	S.63	H.1	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	H.15	H.16	H.17
	西暦		1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
施設名	支出済費用換算係数		1.7680	1.7920	1.8020	1.7650	1.6930	1.6260	1.5610	1.5370	1.5230	1.5170	1.4950	1.4860	1.4590	1.4870	1.4990	1.4950	1.5140	1.5180	1.5190	1.4950	1.4440
	基準年度＝	割引率	0.2083	0.2166	0.2253	0.2343	0.2437	0.2534	0.2636	0.2741	0.2851	0.2965	0.3083	0.3207	0.3335	0.3468	0.3607	0.3751	0.3901	0.4057	0.4220	0.4388	0.4564
	R.7年度	経過年数	-40	-39	-38	-37	-36	-35	-34	-33	-32	-31	-30	-29	-28	-27	-26	-25	-24	-23	-22	-21	-20
1-1	費用区分																						
ため池	全体	耐用年数 80年																	49	48	47	46	45
		償却施設費 換算額																	—	—	—	—	—
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額																					
	用地費																						
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	費用区分																						
提体	全体	耐用年数 80年																					
		償却施設費 換算額																					
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額																					
	用地費																						
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	費用区分																						
洪水吐	全体	耐用年数 40年																					
		償却施設費 換算額																	—	—	—	—	
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額																					
	用地費																						
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	費用区分																						
取水施設	全体	耐用年数 40年																					
		償却施設費 換算額																					
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額																					
	用地費																						
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	費用区分																	再整備					
末端排水路	全体	耐用年数 30年	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25
		償却施設費 換算額	27,218	25,403	23,589	21,774	19,960	18,145	16,331	14,516	12,702	10,887	9,073	7,258	5,444	3,629	1,815	54,432	52,618	50,804	48,990	47,176	45,362
	予防保全	耐用年数																					
		償却施設費 換算額																					
	用地費																						
	計		27,218	25,403	23,589	21,774	19,960	18,145	16,331	14,516	12,702	10,887	9,073	7,258	5,444	3,629	1,815	54,432	52,618	50,804	48,990	47,176	45,362

（３）資産価額の整理及び現在価値化

（第3表）

施設番号	項目																			
	年度No		139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157
	和暦		H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27	H.28	H.29	H.30	R.1	R.2	R.3	R.4	R.5	R.6
	西暦		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
施設名	支出済費用換算係数		1.4190	1.4080	1.3250	1.3630	1.3510	1.3330	1.3860	1.3280	1.2930	1.2920	1.3130	1.2630	1.2570	1.2360	1.2480	1.1560	1.0430	1.0180	1.0000
	基準年度＝	割引率	0.4746	0.4936	0.5134	0.5339	0.5553	0.5775	0.6006	0.6246	0.6496	0.6756	0.7026	0.7307	0.7599	0.7903	0.8219	0.8548	0.8890	0.9246	0.9615
	R.7年度	経過年数	-19	-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12	-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1
1-1	費用区分																				
ため池	全体	耐用年数 80年	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28		
		償却施設費 換算額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	費用区分																				
提体	全体	耐用年数 80年																			
		償却施設費 換算額																			
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	費用区分																				
洪水吐	全体	耐用年数 40年																			
		償却施設費 換算額																			
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	費用区分																				
取水施設	全体	耐用年数 40年																			
		償却施設費 換算額																			
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	費用区分																				
末端排水路	全体	耐用年数 30年	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
		償却施設費 換算額	43,548	41,734	39,919	38,105	36,290	34,476	32,661	30,847	29,032	27,218	25,403	23,589	21,774	19,960	18,145	16,331	14,516	12,702	10,887
	予防保全	耐用年数																			
		償却施設費 換算額																			
	用地費																				
	計		43,548	41,734	39,919	38,105	36,290	34,476	32,661	30,847	29,032	27,218	25,403	23,589	21,774	19,960	18,145	16,331	14,516	12,702	10,887

（３）資産価額の整理及び現在価値化

（第3表）

評価期間：一定期間（40年）

施設番号	項目																										
			（評価年）	当該着工			当該完了																				
	年度No		158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181
	和暦		R.7	R.8	R.9	R.10	R.11	R.12	R.13	R.14	R.15	R.16	R.17	R.18	R.19	R.20	R.21	R.22	R.23	R.24	R.25	R.26	R.27	R.28	R.29	R.30
	西暦		2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048
施設名	支出済費用換算係数		1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	基準年度＝	割引率	1.0000	1.0400	1.0816	1.1249	1.1699	1.2167	1.2653	1.3159	1.3686	1.4233	1.4802	1.5395	1.6010	1.6651	1.7317	1.8009	1.8730	1.9479	2.0258	2.1068	2.1911	2.2788	2.3699	2.4647
	R.7年度	経過年数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1-1 ため池	費用区分																									
	全体	耐用年数 80年																								
		償却施設費 換算額																								
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費			－																						
	計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2 提体	費用区分			当該事業	当該事業	当該事業	当該事業																			
	全体	耐用年数 80年					80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61
		償却施設費 換算額					42,346	41,817	41,288	40,759	40,230	39,701	39,172	38,643	38,114	37,585	37,056	36,527	35,998	35,469	34,940	34,411	33,882	33,353	32,824	32,295
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費			819			819																			
	計		－	819	－	－	43,165	41,817	41,288	40,759	40,230	39,701	39,172	38,643	38,114	37,585	37,056	36,527	35,998	35,469	34,940	34,411	33,882	33,353	32,824	32,295
3 洪水吐	費用区分			当該事業	当該事業	当該事業	当該事業																			
	全体	耐用年数 40年					40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
		償却施設費 換算額					4,838	4,717	4,596	4,475	4,354	4,233	4,112	3,991	3,870	3,749	3,628	3,507	3,386	3,265	3,144	3,023	2,902	2,781	2,660	2,539
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費			－			－																			
	計		－	－	－	－	4,838	4,717	4,596	4,475	4,354	4,233	4,112	3,991	3,870	3,749	3,628	3,507	3,386	3,265	3,144	3,023	2,902	2,781	2,660	2,539
4 取水施設	費用区分			当該事業	当該事業	当該事業	当該事業																			
	全体	耐用年数 40年					40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
		償却施設費 換算額					14,838	14,467	14,096	13,725	13,354	12,983	12,612	12,241	11,870	11,499	11,128	10,757	10,386	10,015	9,644	9,273	8,902	8,531	8,160	7,789
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費			－			－																			
	計		－	－	－	－	14,838	14,467	14,096	13,725	13,354	12,983	12,612	12,241	11,870	11,499	11,128	10,757	10,386	10,015	9,644	9,273	8,902	8,531	8,160	7,789
5 末端排水路	費用区分							再整備																		
	全体	耐用年数 30年	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
		償却施設費 換算額	9,073	7,258	5,444	3,629	1,815	54,432	52,618	50,804	48,990	47,176	45,362	43,548	41,734	39,919	38,105	36,290	34,476	32,661	30,847	29,032	27,218	25,403	23,589	21,774
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費 換算額																								
	用地費			－																						
	計		9,073	7,258	5,444	3,629	1,815	54,432	52,618	50,804	48,990	47,176	45,362	43,548	41,734	39,919	38,105	36,290	34,476	32,661	30,847	29,032	27,218	25,403	23,589	21,774

（３）資産価額の整理及び現在価値化

（第3表）

施設番号	項目			評価期間：一定期間（40年）																					事業着工時点の資産価額	評価期間終了時点（工期+40）の資産価額
	年度No			182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202		
	和暦			R.31	R.32	R.33	R.34	R.35	R.36	R.37	R.38	R.39	R.40	R.41	R.42	R.43	R.44	R.45	R.46	R.47	R.48	R.49	R.50	R.51		
	西暦			2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069		
施設名	支出済費用換算係数			1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000		
	基準年度＝	割引率		2.5633	2.6658	2.7725	2.8834	2.9987	3.1187	3.2434	3.3731	3.5081	3.6484	3.7943	3.9461	4.1039	4.2681	4.4388	4.6164	4.8010	4.9931	5.1928	5.4005	5.6165		
	R.7年度	経過年数		24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44		
1-1	費用区分																									
ため池	全体	耐用年数	80年																							
		償却施設費	換算額																							
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費	換算額																							
	用地費																							—	（割引後）	
	計			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	費用区分																									
提体	全体	耐用年数	80年	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40		
		償却施設費	換算額	31,766	31,237	30,708	30,179	29,650	29,121	28,592	28,063	27,534	27,005	26,475	25,946	25,416	24,887	24,357	23,828	23,298	22,769	22,239	21,710	21,180		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費	換算額																							
	用地費																							819	（割引後）	
	計			31,766	31,237	30,708	30,179	29,650	29,121	28,592	28,063	27,534	27,005	26,475	25,946	25,416	24,887	24,357	23,828	23,298	22,769	22,239	21,710	21,999	—	3,917
3	費用区分																									
洪水吐	全体	耐用年数	40年	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	40		
		償却施設費	換算額	2,418	2,297	2,176	2,055	1,934	1,813	1,692	1,571	1,450	1,329	1,208	1,087	966	845	724	603	482	362	241	121	4,838		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費	換算額																							
	用地費																							—	（割引後）	
	計			2,418	2,297	2,176	2,055	1,934	1,813	1,692	1,571	1,450	1,329	1,208	1,087	966	845	724	603	482	362	241	121	4,838	—	861
4	費用区分																									
取水施設	全体	耐用年数	40年	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	40		
		償却施設費	換算額	7,418	7,047	6,676	6,305	5,934	5,563	5,192	4,821	4,450	4,079	3,708	3,337	2,966	2,595	2,224	1,853	1,482	1,112	741	371	14,838		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費	換算額																							
	用地費																							—	（割引後）	
	計			7,418	7,047	6,676	6,305	5,934	5,563	5,192	4,821	4,450	4,079	3,708	3,337	2,966	2,595	2,224	1,853	1,482	1,112	741	371	14,838	—	2,642
5	費用区分														再整備											
末端排水路	全体	耐用年数	30年	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21		
		償却施設費	換算額	19,960	18,145	16,331	14,516	12,702	10,887	9,073	7,258	5,444	3,629	1,815	54,432	52,618	50,804	48,990	47,176	45,362	43,548	41,734	39,919	38,105		
	予防保全	耐用年数																								
		償却施設費	換算額																							
	用地費																							—	（割引後）	
	計			19,960	18,145	16,331	14,516	12,702	10,887	9,073	7,258	5,444	3,629	1,815	54,432	52,618	50,804	48,990	47,176	45,362	43,548	41,734	39,919	38,105	8,724	6,784

（４）総費用の総括

（単位：千円）（第4表）

区分・施設番号・施設名		費用区分	事業着工時点の資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間における予防保全・再整備費 ④	評価期間修了時点の資産価額 ⑤	総費用 ①+②+③+④−⑤	備考
団体営	1-1	ため池	−	−	−	−	−	−	
県営	2	提体	−	45,071	−	−	3,917	41,154	
県営	3	洪水吐	−	4,381	−	−	861	3,520	
県営	4	取水施設	−	13,435	−	−	2,642	10,793	
団体営	5	末端排水路	8,724	−	−	275,476	6,784	277,416	
計			8,724	62,887	−	275,476	14,204	332,883	

施　設　別　按　分　割　合　算　定　表

（本地区分事業費按分に関する参考表）

施設番号	施設名	事　業　名	地　区　名	按　分　割　合　の　内　訳									按　分	備　　考
				受益面積										
				関　連	当　該	同左比	関　連	当　該	同左比	関　連	当　該	同左比	割　合	
1-1	ため池	団体営ほ場整備	安養寺地区										1.000	本地区施設
2	提体	県経営体(ほ場)	安養寺地区										1.000	本地区施設
3	洪水吐	県経営体(ほ場)	安養寺地区										1.000	本地区施設
4	取水施設	県経営体(ほ場)	安養寺地区										1.000	本地区施設
5	末端排水路	団体営ほ場整備	安養寺地区										1.000	本地区施設

作　物　生　産　効　果

〔新　設　整　備〕
該当事項なし

〔更　　新　　整　　備〕

1．面積関係の算定

ア．地目別面積及び本地面積一覧表

（第12表）

計画（現況）／現況（なかりせば）		農用地 田 (ha)	農用地 普通畑 (ha)	農用地 樹園地 (ha)	農用地 牧草畑 (ha)	農用地 計 (ha)	非農用地 農道・用排水路 (ha)	非農用地 その他 (ha)	合計 (ha)	うち本地面積 (ha)
農用地	田 (ha)	15.20 (15.20) 〈—〉	—			15.20 (15.20) 〈—〉	(—) 〈—〉	(—) 〈—〉	15.20 (15.20) 〈—〉	14.70 (14.70) 〈—〉
農用地	輪換耕地(ha)	15.20 (15.20) 〈—〉	—			15.20 (15.20) 〈—〉			15.20 (15.20) 〈—〉	14.70 (14.70) 〈—〉
農用地	普通畑 (ha)					— (—) 〈—〉			— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉
農用地	樹園地 (ha)					— (—) 〈—〉			— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉
農用地	牧草畑 (ha)					— (—) 〈—〉			— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉
農用地	計 (ha)	15.20 (15.20) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	15.20 (15.2) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	15.20 (15.20) 〈—〉	14.70 (14.70) 〈—〉
非農用地	農道・用排水路 (ha)					— (—) 〈—〉	—		— (—) 〈—〉	
非農用地	その他 (ha)					— (—) 〈—〉			— (—) 〈—〉	
合計 (ha)		15.20 (15.20) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	15.20 (15.20) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	15.20 (15.20) 〈—〉	
うち本地面積 (ha)		14.70 (14.70) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	— (—) 〈—〉	14.70 (14.70) 〈—〉				

※注記
・田の（　）は、水田の畑利用で内数
・田の〈　〉は、排水に係る不可避受益で外数

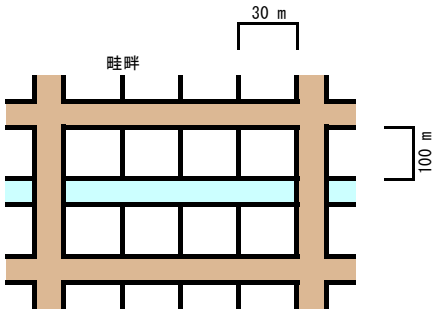
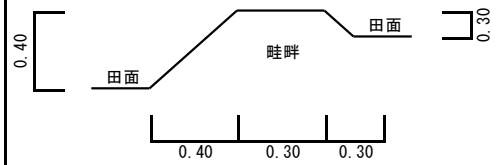
イ．本　地　率

（第12表の作業表）

地目班	傾斜、区画の条件	本地率 (%) 現況	備考
田 → 田	1/1000，30ａ区画	97.0	別添本地率算定表より

本　地　率　算　定　表

（第12表の参考表）

区　分	標　準　区　画　イ　メ　ー　ジ　図		本　地　率　算　定
現況 （30a区画）			区画面積：　100 m ×　30 m　＝　3,000 ㎡ 田　面　差：　0.40 m －　0.30 m　＝　0.10 m 畦畔面積：（　0.40 m ＋　0.30 m ＋　0.30 m ）×　100 m ＝　100 ㎡ 本地面積：　3,000 ㎡ －　100 ㎡　＝　2,900 ㎡ 本　地　率：　2,900 ㎡ ÷　3,000 ㎡ ×　100　＝　97 %

ウ. 耕　地　区　分（更新）

（第13表の作業表）

地　目　班	市町村名	区域番号	現況本地面積 (ha)	対策工種	事業なかりせば 土地条件 乾質	被害の種類別発生面積 干害 (ha)	水害 (ha)				備考
田　→　田	越　前　市	I	14.7	用水改良	I	－	－				
計			14.7		－	－	－	－	－	－	
普通畑→普通畑											
計			－		－	－	－	－	－	－	
その他→その他											
計			－		－	－	－	－	－	－	
合　計			14.7		－	－	－	－	－	－	

エ．対策耕種と効果要因別面積（更新）

（第13表）

市町村名	区域番号	面積				更新整備											備考
		耕地面積		本地面積		対策工種			事業なかりせば効果の要因とその程度								
									減産防止		立地条件の好転						
											乾田化		水管理改良		湿潤灌漑	田畑輪換	
											増収率(%)		増収率(%)				
											6	3	58				
		現況 (ha)	計画 (ha)	現況 (ha)	計画 (ha)	用水再建設 (ha)	排水再建設 (ha)	畑潅再建設 (ha)	干害防止 (ha)	水害防止 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
越前市	Ⅰ	15.2	15.2	14.7	14.7	14.7	－	－	－	－	－	－	14.7	－	－	－	用水改良
計		15.2	15.2	14.7	14.7	14.7	－	－	－	－	－	－	14.7	－	－	－	
計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
計		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
合計		15.2	15.2	14.7	14.7	14.7	－	－	－	－	－	－	14.7	－	－	－	

オ．地目別作付面積（更新）

（第14表）

地目		田					普通畑					計				
時点		現況 (ha)		計画 (ha)		増減(ha)	現況 (ha)		計画 (ha)		増減(ha)	現況 (ha)		計画 (ha)		増減(ha)
本地面積		14.7		14.7		—	—		—		—	14.7		14.7		—
表裏	作物名	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)	作付率 (%)	作付面積 (ha)
表	水稲	13.9	94.6	13.9	94.6	—						13.9	94.6	13.9	94.6	—
	大麦	0.3	2.0	0.3	2.0	—						0.3	2.0	0.3	2.0	—
	そば	0.5	3.4	0.5	3.4	—						0.5	3.4	0.5	3.4	—
小計		14.7	100.0	14.7	100.0	—	—	—	—	—	—	14.7	100.0	14.7	100.0	—
裏																
小計		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		14.7	100.0	14.7	100.0	—	—	—	—	—	—	14.7	100.0	14.7	100.0	—

２．作物増加生産量関係の算定

ア．現況単収の算定（更新）

（第15表）

作物名	市町村名	越前市												計（平均）		
	項目	作付面積	単収	生産量	作付面積	単収	生産量	作付面積	単収	生産量	作付面積	単収	生産量	作付面積	単収	生産量
	年次	(ha)	(kg/10a)	(t)	(ha)	(kg/10a)	(t)	(ha)	(kg/10a)	(t)	(ha)	(kg/10a)	(t)	(ha)	(kg/10a)	(t)
水稲	R 1 年	2,550	522	13,300										2,550	522	13,300
	R 2 年	2,540	511	13,000										2,540	512	13,000
	R 3 年	2,450	518	12,700										2,450	518	12,700
	R 4 年	2,420	500	12,100										2,420	500	12,100
	R 5 年	2,420	529	12,800										2,420	529	12,800
	平均													12,380	516	63,900
大麦	R 1 年	224	267	598										224	267	598
	R 2 年	256	268	686										256	268	686
	R 3 年	274	234	640										274	234	640
	R 4 年	306	368	1,130										306	369	1,130
	R 5 年	303	277	840										303	277	840
	平均													1,363	286	3,894
そば	R 1 年	171	31	53										171	31	53
	R 2 年	185	44	81										185	44	81
	R 3 年	185	35	66										185	36	66
	R 4 年	205	30	61										205	30	61
	R 5 年	208	56	117										208	56	117
	平均													954	40	378
	平均															
	平均															

イ．作物別効果要因別増収率の算定（更新）

（第17表）

作　物　名	効果要因	増収率(%)	備　　　考
水　　　稲	水　管　理　-3	58	通達資料(用水なかりせば)
大　　　麦	田　畑　輪　換	15	通達資料
そ　　　ば	田　畑　輪　換	15	通達資料

ウ．効果要因別面積と生産増減量の算定（更新）

（第18表）

地目班	作物名	作付面積 現況（なかりせば）(ha)	作付面積 計画（現況）(ha)	効果要因とその程度	効果発生面積 X (ha)	単収等 ありせば 現況単収 A (kg/10a)	単収等 なかりせば 立地条件好転 失れる増収率 B (%)	単収等 なかりせば 立地条件好転 機能喪失時の単収 C=A/(1+B) (kg/10a)	単収等 なかりせば 立地条件好転 失われる10ａ当り増加量 D=A-C (kg/10a)	単収等 なかりせば 減産防止 失われる10ａ当被害防止量 E (kg/10a)	単収等 なかりせば 機能喪失により失われる単収 F=D+E (kg/10a)	単収等 なかりせば なかりせば単収 G=A-F (kg/10a)	生産増減量 ありせば単収増 H=X*F (ｔ)	備考
田	水稲	13.9	13.9	水管理-3	13.9	516	58	217	299		299		41.6	
				小計		516		217	299		299	217	41.6	
	大麦	0.3	0.3	田畑輪換	0.3	286	15	249	37		37		0.1	
				小計		286		249	37		37	249	0.1	
	そば	0.5	0.5	田畑輪換	0.5	40	15	35	5		5		0.0	
				小計		40		40				40		
				小計										
				小計										
				小計										
				小計										
普通畑				小計										
				小計										
				小計										
合計		14.7	14.7											

エ．生産物単価の算定（更新）

単価算出年度:（　令和6　年　消費者物価指数　＝　106.3 ）　　（第19表）

作物名	算出単位	年度	出回り期価格（円） 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	出回り期平均価格（円）	消費者物価指数	1次修正値	5ヶ年相対平均価格（円）	決定価格（円）	単位当り価格（円/kg）	備考
水稲	1.0kg	R.1	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	262	100.2	2.61	2.32	247	247	福井県調べ
		R.2	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	250	100.0	2.50				
		R.3	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	206	100.1	2.06				
		R.4	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	222	103.3	2.15				
		R.5	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	244	106.4	2.29				
大麦	1.0kg	R.1	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	50	100.2	0.50	0.49	52	52	福井県調べ
		R.2	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	50	100.0	0.50				
		R.3	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	50	100.1	0.50				
		R.4	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	50	103.3	0.48				
		R.5	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	49	106.4	0.46				
そば	1.0kg	R.1	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	289	100.2	2.88	2.45	260	260	福井県調べ
		R.2	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	167	100.0	1.67				
		R.3	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	189	100.1	1.89				
		R.4	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	289	103.3	2.80				
		R.5	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	322	106.4	3.03				

オ．純益率・所得率の算定（更新）

（第20表）

作　物　名	純 益 率(%)		所 得 率(%)		備　　考
	作付増減	単収増加	作付増減	単収増加	
水　　稲	―	89	27	89	通達資料(用水なかりせば)
大　　麦	9	90	23	88	通達資料
そ　　ば	―	―	―	―	通達資料

カ．生産増減効果の算定（更新）

（第21表）

地目班	作物名	作付面積 現況（なかりせば）(ha)	作付面積 計画（現況）(ha)	効果要因とその程度	効果発生面積 X (ha)	単収等 ありせば 現況 単収 A (kg/10a)	単収等 なかりせば 立地条件好転 失れる増収率 B (%)	単収等 なかりせば 立地条件好転 機能喪失時の単収 C=A/(1+B) (kg/10a)	単収等 なかりせば 立地条件好転 失われる10a当り増加量 D=A-C (kg/10a)	単収等 なかりせば 減産防止 失われる10a当被害防止量 E (kg/10a)	単収等 なかりせば 機能喪失により失われる単収 F=D+E (kg/10a)	単収等 なかりせば なかりせば単収 G=A-F (kg/10a)	生産増減量 ありせば 単収増 H=X*F (t)	生産物 単価 (千円/t)	増加粗収益額 (千円)	年効果額 純益率 (%)	年効果額 増加純益額 (千円)	年増加所得額 所得率 (%)	年増加所得額 増加所得額 (千円)
田	水稲	13.9	13.9	水管理-3	13.9	516	58	217	299		299		41.6	254	10,566	89	9,404		
				小計		516		217	299		299	217	41.6		10,566		9,404		
	大麦	0.3	0.3	田畑輪換	0.3	286	15	249	37		37		0.1	53	5	90	5		
				小計		286		249	37		37	249	0.1		5		5		
	そば	0.5	0.5	田畑輪換	0.5	40	15	35	5		5		0.0	268	0	－	－		
				小計		40		40				40							
				小計															
				小計															
				小計															
				小計															
普通畑				小計															
				小計															
				小計															
合計		14.7	14.7												10,571		9,409		

キ．作物生産効果の総括（更新）

（第第22表）

効　果　名	年 効 果 額 （千円）	年増加所得額 （千円）	備　考
事業なかりせば効果額	9,409		再建設整備
計	9,409	－	

〔新　設　＋　更　新〕

キ．生産増減効果の算定（新設+更新）

（第23表）

地目班	作物名	作付面積 更新整備 現況 (ha)	作付面積 更新整備 計画 (ha)	作付面積 新設整備 現況 (ha)	作付面積 新設整備 計画 (ha)	作付面積 増減 (ha)	効果要因とその程度	効果発生面積 X (ha)	単収等 現況単収 A (kg/10a)	単収等 なかりせば 立地条件機能喪失時の単収 B (kg/10a)	単収等 なかりせば 機能喪失により失われる単収 C=A-B (kg/10a)	単収等 なかりせば 単収 D=A-C (kg/10a)	単収等 ありせば 10a当たり被害防止量 E (kg/10a)	単収等 ありせば 無被害単収 F=A-D (kg/10a)	単収等 ありせば 10a当たり増加量 G (kg/10a)	単収等 ありせば 計画単収 H=F+G (kg/10a)	生産増減量 単収増 I=X*C・E・G (t)	生産増減量 作付増減 J=X*・A・H	生産物単価 K (千円/t)	増加粗収益額 L=I・J*K (千円)	年効果額 純益率 M (%)	年効果額 増加純益額 N=L*M (千円)	年増加所得額 所得率 O (%)	年増加所得額 増加所得額 P=L*O (千円)
田（更新整備）	水稲	13.9	13.9				水管理-3	13.9	516	217	299						41.6		254	10,566	89	9,404		
							小計		516	217	299	217					41.6			10,566		9,404		
	大麦	0.3	0.3				田畑輪換	0.3	286	249	37						0.1		53	5	90	5		
							小計		286	249	37	249					0.1			5		5		
	そば	0.5	0.5				田畑輪換	0.5	40	35	5						0.0		268	—	—	—		
							小計		40	40		40												
							小計																	
							小計																	
							小計																	
							小計																	
普通畑（更新整備）							小計																	
							小計																	
							小計																	
小計		14.7	14.7																	10,571		9,409		
合計																				10,571		9,409		—

ク．作物生産効果の総括

（第24表）

効　果　名	年効果額（千円）	年増加所得額（千円）	備　考
作物生産効果（事業ありせば効果額）	－	－	新設整備
作物生産効果（事業なかりせば効果額）	9,409		再建設整備
計	9,409	－	

営 農 経 費 節 減 効 果

農地利用集積による効果発生面積整理表（全体）

●経営区分別、工種別面積の整理表①　　[単位：ha]

経営分類	区画整理	
	現況	計画
個　人　⇒　個　人	0.9	0.9
担　い　手　⇒　担　い　手	14.2	14.2
個　人　⇒　担　い　手	－	
合　計	15.2	15.2

●経営区分別、工種別面積の整理表②　　[単位：ha]

経営分類	現況				計画			
	整地	排水	用水	暗渠排水	整地	排水	用水	暗渠排水
個　人　⇒　個　人			0.9				0.9	
担　い　手　⇒　担　い　手			14.2				14.2	－
個　人　⇒　担　い　手	－	－	－	－				－
合　計	－	－	15.2	－	－	－	15.2	－

農地利用集積による効果発生面積整理表（用水改良）

●経営区分別、経営面積の整理表

経営分類	区画規模	経営面積 (ha)			備考
		現況	計画	差	
個別経営	30a	0.9	0.9	-	
担い手経営	30a	14.2	14.2	0.0	
計	10ａ	15.2	15.2		
	30ａ	-	-		
	全体	15.2	15.2		

※この表は畦畔を含む面積とする。

経営分類			計画区画規模	経営面積(ha)	同左比(%)
現況	⇒	計画			
個別経営	⇒	個別経営	30ａ	0.9	6.02
				-	-
担い手経営	⇒	担い手経営	30ａ	14.2	93.98
				-	-
個別経営	⇒	担い手経営	30ａ	-	-
				-	-
計			30ａ	15.2	
			全体	15.2	100.00

※この表は畦畔を含む面積とする。

●経営区分別、作付け面積の整理表

区画規模	作付作物	経営分類別面積：現況(ha)			
		個別経営	担い手経営		計
1.0 ha	水稲	0.9	13.0		13.9
	大麦		0.3		0.3
	そば		0.5		0.5
					-
比率		6.02	93.98		100.00

※この表は作付け面積(本地面積)とする。

区画規模	作付作物	経営分類別面積：計画(ha)			
		個別経営	担い手経営	個別経営↓担い手経営	計
1.0 ha	水稲	0.9	13.0		13.9
	大麦		0.3		0.3
	そば		0.5		0.5
比率		6.02	93.98	-	100.00

※この表は作付け面積(本地面積)とする。

※本表は「排水改良」の効果算定のための整理表である。

〔新　設　整　備〕
該当事項なし

〔更　　新　　整　　備〕

ア．営農の現状

作物名	水稲		現況	30a(標準)乾田		用水供給	用水路		排水管理	排水路		改良区分	用水				(第8表)
検索No	30a-1Y-1-1-G	30a-1Y-1-2-G	30a-1Y-1-3-G	30a-1Y-1-4-G	30a-1Y-1-5-G	30a-1Y-1-6-G	30a-1Y-1-7-G	30a-1Y-1-8-G	30a-1Y-1-9-G	30a-1Y-1-10-G	30a-1Y-1-11-G	30a-1Y-1-12-G	30a-1Y-1-13-G	30a-1Y-1-14-G	30a-1Y-1-15-G		
作業名 作業方法	種子与措	苗代一切	本田耕起			本田整地	田植	追肥	除草	水管理(用)	〃 (排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)	計	
作業期間	10上-03下	03下-04下	10下-04下			04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上		
作業方法 回数等																	
作業手段 (機械名)		共同施設	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾛｰﾀﾘｰ			ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾊﾛｰ	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	ﾄﾗｯｸ(軽)	共同施設		
ha当り所要時間 人力			18.1			10.0	15.8	4.0	49.0	41.0	30.0	1.2	20.2	9.0		198.3	
ha当り所要時間 機械力			18.1			10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0		59.7	
時間当り費用 人力			1,780			1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780			
時間当り費用 機械力			0			0	0	0	0			0	0	0			
ha当り経費 人力			32,218			17,800	28,124	7,120	87,220	72,980	53,400	2,136	35,956	16,020		352,974	
ha当り経費 機械力			0			0	5	0	0			0	0	0		5	
ha当り使用資材量								追肥1号 150kg	ﾍﾞｸｻｰ10kg			ﾗﾌﾞﾊﾞｯｻ 40kg					

作物名	大麦		現況	30a(標準)乾田		用水供給	用水路		排水管理	排水路		改良区分	用水				(第8表)
作業名 作業方法	圃場排水	石灰散布	種子与措	耕起	施肥播種	防除			栽培管理(用)	〃 (排)	〃 (栽)	収穫	運搬	乾燥調整(麦)		計	
作業期間	09下	09下-10上		09下-10上	10上-10中	05上			11上-05下	11上-05下	11上-05下	06中	06中-06下	06中-06下			
作業方法 回数等																	
作業手段 (機械名)	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾄﾚﾝﾁｬｰ	人力	人力	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾛｰﾀﾘｰ	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ｸﾞﾚﾝﾄﾞﾘﾙ	動力散粉機			人力	人力	人力	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	ﾄﾗｯｸ(軽)	共同施設			
ha当り所要時間 人力	2.8	10.0	2.1	9.1	10.4	2.4			0.5	1.5	5.6	17.0	5.4			66.8	
ha当り所要時間 機械力	1.4			9.1	5.2	1.2						8.5	5.4			30.8	
時間当り費用 人力	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780			1,780	1,780	1,780	1,780	1,780				
時間当り費用 機械力	0			0	0	0						0	0				
ha当り経費 人力	4,984	17,800	3,738	16,198	18,512	4,272			890	2,670	9,968	30,260	9,612			118,904	
ha当り経費 機械力	0			0	0	0						0	0				
ha当り使用資材量		珪酸2t,熔燐0.4t	ﾍﾞﾝﾚｰﾄT			ｱﾗｼﾞﾝ400kg			ﾆｶﾌﾞﾗｯｸ 400kg								

作物名	そば	現況	30a(標準)乾田	用水供給	用水路	排水管理	排水路	改良区分	用水						(第8表)
作業名 作業方法	圃場排水	石灰散布	種子与措	耕起	施肥播種	防除	栽培管理(用)	〃 (排)	〃 (栽)	収穫	運搬					計
作業期間	07上	07中		07中-07下	08中-08下	09上-09中	08下-10中	08下-10中	08下-10中	10下-11上	10下-11上					
作業方法 回数等																
作業手段 (機械名)	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾄﾚﾝﾁｬｰ	人力	人力	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾛｰﾀﾘｰ	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ｸﾞﾚﾝﾄﾞﾘﾙ	動力散粉機	人力	人力	人力	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	ﾄﾗｯｸ(軽)					
ha当り所要時間 人力	2.8	10.0	2.1	9.1	10.4	6.0	0.5	1.5	5.6	17.0	2.2					67.2
ha当り所要時間 機械力	1.4			9.1	5.2	1.2				8.5	2.2					27.6
時間当り費用 人力	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780					
時間当り費用 機械力	0			0	0	0				0	0					
ha当り経費 人力	4,984	17,800	3,738	16,198	18,512	10,680	890	2,670	9,968	30,260	3,916					119,616
ha当り経費 機械力	0			0	0	0				0	0					
ha当り使用資材量		ﾏｸﾞｴｰｽ 100kg			そさい3号 100kg	ﾃｨﾌﾟﾚﾃｯｸｽ 40kg										

作物名		現況		用水供給		排水管理		改良区分						(第8表)
作業名 作業方法														計
作業期間														
作業方法 回数等														
作業手段 (機械名)														
ha当り所要時間 人力														
ha当り所要時間 機械力														
時間当り費用 人力														
時間当り費用 機械力														
ha当り経費 人力														
ha当り経費 機械力														
ha当り使用資材量														

イ．事業なかりせば想定される営農作業体系

作物名		水稲		なかりせば	30a(標準)乾田		用水供給	用水供給なし		排水管理	排水路		改良区分	用水			(第9表)
作業名 作業方法		苗代一切	苗代一切	本田耕起			本田整地	田植	追肥	除草	水管理(用)	〃 (排)	防除	稲刈脱穀	運搬	乾燥調整(稲)	計
作業期間		10上-03下	03下-04下	10下-04下			04下-05上	05上-05上	05下-07下	06中-07上	04下-09上	04下-09上	06中-09上	08下-10上	08下-10上	08下-10上	
作業方法 回数等																	
作業手段 (機械名)			共同施設	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾛｰﾀﾘｰ			ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾊﾛｰ	田植機 5条	動力散粒機	動力散粒機	人力	人力	動力散粉機	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	ﾄﾗｯｸ(軽)	共同施設	
ha当り所要時間	人力			18.1			10.0	15.8	4.0	49.0	10.0	30.0	1.2	20.2	9.0		167.3
	機械力			18.1			10.0	7.9	2.0	2.0			0.6	10.1	9.0		59.7
時間当り費用	人力			1,780			1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780		
	機械力			0			0	0	0	0			0	0	0		
ha当り経費	人力			32,218			17,800	28,124	7,120	87,220	17,800	53,400	2,136	35,956	16,020		297,794
	機械力			0			0	0	0	0			0	0	0		
ha当り使用資材量									追肥1号 150kg	ﾍﾞｸｻｰ10kg			ﾗﾌﾞﾊﾞｯｻ 40kg				

作物名		大麦		なかりせば	30a(標準)乾田		用水供給	用水供給なし		排水管理	排水路		改良区分	用水			(第9表)
作業名 作業方法		圃場排水	石灰散布	種子与措	耕起	施肥播種	防除			栽培管理(用)	〃 (排)	〃 (栽)	収穫	運搬	乾燥調整(麦)		計
作業期間		09下	09下-10上		09下-10上	10上-10中	05上			11上-05下	11上-05下	11上-05下	06中	06中-06下	06中-06下		
作業方法 回数等																	
作業手段 (機械名)		ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾄﾚﾝﾁｬｰ	人力	人力	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾛｰﾀﾘｰ	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ｸﾞﾚﾝﾄﾞﾘﾙ	動力散粉機			人力	人力	人力	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	ﾄﾗｯｸ(軽)	共同施設		
ha当り所要時間	人力	2.8	10.0	2.1	9.1	10.4	2.4			0.5	1.5	5.6	17.0	5.4			66.8
	機械力	1.4			9.1	5.2	1.2						8.5	5.4			30.8
時間当り費用	人力	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780			1,780	1,780	1,780	1,780	1,780			
	機械力	0			0	0	0						0	0			
ha当り経費	人力	4,984	17,800	3,738	16,198	18,512	4,272			890	2,670	9,968	30,260	9,612			118,904
	機械力	0			0	0	0						0	0			
ha当り使用資材量			珪酸2t,熔燐0.4t	ﾍﾞﾝﾚｰﾄT			ｱﾗｼﾞﾝ400kg			ﾆｶﾌﾞﾗｯｸ 400kg							

作物名		そば		なかりせば	30a(標準)乾田		用水供給	用水供給なし		排水管理	排水路		改良区分	用水			(第9表)
作業名 作業方法		圃場排水	石灰散布	種子与措	耕起	施肥播種	防除	栽培管理(用)	〃 (排)	〃 (栽)	収穫	運搬					計
作業期間		07上	07中		07中-07下	08中-08下	09上-09中	08下-10中	08下-10中	08下-10中	10下-11上	10下-11上					
作業方法 回数等																	
作業手段 (機械名)		ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾄﾚﾝﾁｬｰ	人力	人力	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ﾛｰﾀﾘｰ	ﾄﾗｸﾀｰ32ps ｸﾞﾚﾝﾄﾞﾘﾙ	動力散粉機	人力	人力	人力	ｺﾝﾊﾞｲﾝ	ﾄﾗｯｸ(軽)					
ha当り所要時間	人力	2.8	10.0	2.1	9.1	10.4	6.0	0.5	1.5	5.6	17.0	2.2					67.2
	機械力	1.4			9.1	5.2	1.2				8.5	2.2					27.6
時間当り費用	人力	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780	1,780					
	機械力	0			0	0	0				0	0					
ha当り経費	人力	4,984	17,800	3,738	16,198	18,512	10,680	890	2,670	9,968	30,260	3,916					119,616
	機械力	0			0	0	0				0	0					
ha当り使用資材量			ﾏｸﾞｴｰｽ 100kg			そさい3号 100kg	ﾃｨﾌﾟﾚﾃｯｸｽ 40kg										

作物名			なかりせば		用水供給		排水管理		改良区分						(第9表)
作業名 作業方法															計
作業期間															
作業方法 回数等															
作業手段 (機械名)															
ha当り所要時間	人力														
	機械力														
時間当り費用	人力														
	機械力														
ha当り経費	人力														
	機械力														
ha当り使用資材量															

ウ．事業なかりせばと事業ありせば（現況）との対比

改良区分	用　水						(第10表)
区　分		事業なかりせば			事業ありせば		
作物名		水　稲			水　稲		
ほ場条件		30a（標　準）乾　田			30a（標　準）乾　田		
用水供給		用水供給なし			用　水　路		
排水管理		排　水　路			排　水　路		
労働費		所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②
	種子与措						
	苗代一切						
	本田耕起	18.1	1,780	32,218	18.1	1,780	32,218
	本田整地	10.0	1,780	17,800	10.0	1,780	17,800
	田植	15.8	1,780	28,124	15.8	1,780	28,124
	追肥	4.0	1,780	7,120	4.0	1,780	7,120
	除草	49.0	1,780	87,220	49.0	1,780	87,220
	水管理（用）	10.0	1,780	17,800	41.0	1,780	72,980
	〃（排）	30.0	1,780	53,400	30.0	1,780	53,400
	防除	1.2	1,780	2,136	1.2	1,780	2,136
	稲刈脱穀	20.2	1,780	35,956	20.2	1,780	35,956
	運搬	9.0	1,780	16,020	9.0	1,780	16,020
	乾燥調整（稲）						
	小計	167.3		297,794	198.3		352,974
機械経費		稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②
	種子与措						
	苗代一切						
	本田耕起	18.1	0	0	18.1	0	0
	本田整地	10.0	0	0	10.0	0	0
	田植	7.9	0	0	7.9	0	0
	追肥	2.0	0	0	2.0	0	0
	除草	2.0	0	0	2.0	0	0
	水管理（用）						
	〃（排）						
	防除	0.6	0	0	0.6	0	0
	稲刈脱穀	10.1	0	0	10.1	0	0
	運搬	9.0	0	0	9.0	0	0
	乾燥調整（稲）						
	小計	59.7			59.7		
その他の生産資材経費		生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)
	苗箱費	200	700	140,000	200	700	140,000
	乾燥調整費	5,350	22.4	119,840	5,350	22.4	119,840
	小計			259,840			259,840
合計				557,634			612,814

改良区分	用　水						(第10表)
区分		事業なかりせば			事業ありせば		
作物名		大麦			大麦		
ほ場条件		30a(標準)乾田			30a(標準)乾田		
用水供給		用水供給なし			用水路		
排水管理		排水路			排水路		
労働費		所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②
	圃場排水	2.8	1,780	4,984	2.8	1,780	4,984
	石灰散布	10.0	1,780	17,800	10.0	1,780	17,800
	種子与措	2.1	1,780	3,738	2.1	1,780	3,738
	耕起	9.1	1,780	16,198	9.1	1,780	16,198
	施肥播種	10.4	1,780	18,512	10.4	1,780	18,512
	防除	2.4	1,780	4,272	2.4	1,780	4,272
	栽培管理(用)	0.5	1,780	890	0.5	1,780	890
	〃(排)	1.5	1,780	2,670	1.5	1,780	2,670
	〃(栽)	5.6	1,780	9,968	5.6	1,780	9,968
	収穫	17.0	1,780	30,260	17.0	1,780	30,260
	運搬	5.4	1,780	9,612	5.4	1,780	9,612
	乾燥調整(麦)						
	小計	66.8		118,904	66.8		118,904
機械経費		稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②
	圃場排水	1.4	0	0	1.4	0	0
	石灰散布						
	種子与措						
	耕起	9.1	0	0	9.1	0	0
	施肥播種	5.2	0	0	5.2	0	0
	防除	1.2	0	0	1.2	0	0
	栽培管理(用)						
	〃(排)						
	〃(栽)						
	収穫	8.5	0	0	8.5	0	0
	運搬	5.4	0	0	5.4	0	0
	乾燥調整(麦)						
	小計	30.8			30.8		
その他の生産資材経費		生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)
	乾燥調整費	3,200	22.4	71,680	3,200	22.4	71,680
	小計			71,680			71,680
合計				190,584			190,584

改良区分	用　　水

（第10表）

区分	事業なかりせば			事業ありせば		
作物名	そば			そば		
ほ場条件	30a（標　準）乾　田			30a（標　準）乾　田		
用水供給	用水供給なし			用水路		
排水管理	排水路			排水路		
労働費	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②	所要時間(時/ha) ①	労賃単価(円/時) ②	労働費(円/ha) ③=①*②
圃場排水	2.8	1,780	4,984	2.8	1,780	4,984
石灰散布	10.0	1,780	17,800	10.0	1,780	17,800
種子与措	2.1	1,780	3,738	2.1	1,780	3,738
耕起	9.1	1,780	16,198	9.1	1,780	16,198
施肥播種	10.4	1,780	18,512	10.4	1,780	18,512
防除	6.0	1,780	10,680	6.0	1,780	10,680
栽培管理（用）	0.5	1,780	890	0.5	1,780	890
〃（排）	1.5	1,780	2,670	1.5	1,780	2,670
〃（栽）	5.6	1,780	9,968	5.6	1,780	9,968
収穫	17.0	1,780	30,260	17.0	1,780	30,260
運搬	2.2	1,780	3,916	2.2	1,780	3,916
小計	67.2		119,616	67.2		119,616
機械経費	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②	稼働時間(時/ha) ①	稼働単価(円/時) ②	機械経費(円/ha) ③=①*②
圃場排水	1.4	0	0	1.4	0	0
石灰散布						
種子与措						
耕起	9.1	0	0	9.1	0	0
施肥播種	5.2	0	0	5.2	0	0
防除	1.2	0	0	1.2	0	0
栽培管理（用）						
〃（排）						
〃（栽）						
収穫	8.5	0	0	8.5	0	0
運搬	2.2	0	0	2.2	0	0
小計	27.6			27.6		
その他の生産資材経費	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)	生産資材量(X/ha)	生産資材単価(円/X)	生産資材経費(円/ha)
小計						
合計			119,616			119,616

エ．再建設整備による営農経費節減効果の総括

（第11表）

作物名	なかりせば区分名	用水供給・排水管理区分				単位面積当たり営農経費節減額(円/ha)			効果発生面積	年効果額	備考
		事業なかりせば		事業ありせば		事業なかりせば	事業ありせば	差			
		用水供給	排水管理	用水供給	排水管理	①	②	③=①-②	(ha)	(千円)	
水稲	30a(標準)乾田	用水供給なし	排水路	用水路	排水路	557,634	612,814	△ 55,180	13.9	△ 767	用水
大麦	30a(標準)乾田	用水供給なし	排水路	用水路	排水路	190,584	190,584	0	0.3	0	用水
そば	30a(標準)乾田	用水供給なし	排水路	用水路	排水路	119,616	119,616	0	0.5	0	用水
合計										△ 767	

オ．営農経費節減効果の総括

（第12表）

効　果　名	年 効 果 額 （千円）	年増加所得額 （千円）	備　考
営農経費節減効果 （事業ありせば効果額）	－	－	新設整備
営農経費節減効果 （事業なかりせば効果額）	△ 767		再建設整備
計	△ 767	－	

維 持 管 理 費 節 減 効 果

４．維持管理費節減効果

ア　施設管理団体一覧

（第1表）

団　体　名	団　体　の　所　在　地	団　体　の　賦　課　面　積　(ha)								最近年における ha当り賦課金(円)		賦課戸数(戸)	
						本計画の受益区域							
		田	畑	その他	計	田	畑	その他	計	経　常　費	特別賦課金		本計画の受益戸数
白山安養寺土地改良区	越前市安養寺町113-8	72.0	－	－	72.0	15.2	－	－	15.2			107	43

イ．受益範囲内の団体で管理する水利施設の概要及び変更区分

（第2表）

現況施設番号	施設名	団体名	設置年度	大改修年度	現況施設の概要 構造・数量及び機能	現況施設の概要 維持管理方法	今後の予想耐用年数	本事業による改良・廃止維持管理費の変更の区分及びその理由 区分	本事業による改良・廃止維持管理費の変更の区分及びその理由 理由
1	ため池	白山安養寺土地改良区	S.48	H8	ため池 V=11,000m3	･白山安養寺土地改良区管理	0	既設利用	－
2	提体	白山安養寺土地改良区	S.48	H8	堤体補強+張ブロック V=1,092㎥	･白山安養寺土地改良区管理	0	更新	耐震補強及び老朽化対策
3	洪水吐	白山安養寺土地改良区	S.48	H8	水路流入型 L＝20.4m	･白山安養寺土地改良区管理	0	更新	耐震補強及び老朽化対策
4	取水施設	白山安養寺土地改良区	S.48	H8	ポンプアップ	･白山安養寺土地改良区管理	0	更新	耐震補強及び老朽化対策
5	末端用水路	白山安養寺土地改良区	S.48	H8	BF-600 L＝100m	･白山安養寺土地改良区管理	0	既設利用	－

ウ．受益範囲内の団体で管理する
水利施設の既往年経費

（第3表）

		施設番号及び施設名	1		2		3		4		5				計
			た め 池		提 体		洪 水 吐		取 水 施 設		末 端 用 水 路				
		改良・廃止等の区分	既 設 利 用		更 新		更 新		更 新		既 設 利 用				
		区 分	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	
維持管理費	年々経常的なもの	R 1 年度 (1.184)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 2 〃 (1.196)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 3 〃 (1.108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 4 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 5 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		既往年平均経費		0		0		0		0		0			
		本 地 区 分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0			
	短期周期的なもの	R 1 年度 (1.184)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 2 〃 (1.196)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 3 〃 (1.108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 4 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 5 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		既往年平均経費		0		0		0		0		0			
		本 地 区 分 ②	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0			
賦役・その他	その他経費	R 1 年度 (1.184)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 2 〃 (1.196)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 3 〃 (1.108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 4 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 5 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		既往年平均経費		0		0		0		0		0			
		本 地 区 分 ③	1.000	0	1.000	0	1.000	0	1.000	0	1.000	0			
	事業内容（算出基礎）		・草 刈 り		・賦役なし		・草 刈 り								
既往年平均経費 ① ＋ ② ＋ ③				0		0		0		0		0			

エ．受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業ありせば維持管理費

（第4表）

計画施設番号	施設名	新設改良等の区分	現況施設番号	管理団体	計画施設の概要		施設の維持管理等に要する事業ありせば年経費					
					構造・数量・機能	工事費（千円）	予定耐用年数	維持修繕費		運転費		経費計（千円）①＋②
								経費（千円）①	算出基礎	経費（千円）②	算出基礎	
1-2	ため池	既設利用	1	白山安養寺土地改良区	ため池 V=11,000m3	－	80	－	既往年経費(第3表)より転記			－
2	提体	更新	2	白山安養寺土地改良区	提体補強+張ブロック V=3,448㎥	－	80	3	既往年経費(第3表)より転記			－
3	洪水吐	更新	3	白山安養寺土地改良区	水路流入型 L＝20.4m	－	40		・1,075m3*3.1円/m3 =3千円 ・福井県諸元調査より			－
4	取水施設	更新	4	白山安養寺土地改良区	ポンプアップ	－	40		既往年経費(第3表)より転記			－
5	末端用水路	既設利用	5	白山安養寺土地改良区	BF-600 L＝100m	－	30		既往年経費(第3表)より転記			－
合計												0

オ．受益範囲内の団体で管理する水利施設の事業なかりせば維持管理費

（第5表）

		施設番号及び施設名	1		2		3		4		5				計
			た め 池		提 体		洪 水 吐		取 水 施 設		末 端 用 水 路				
		改良・廃止等の区分	既 設 利 用		更 新		更 新		更 新		既 設 利 用				
		区 分	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	決算額（千円）	換算額（千円）	
維持管理費	年々経常的なもの	R 1 年度 (1.184)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 2 〃 (1.196)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 3 〃 (1.108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 4 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 5 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		既往年平均経費		0		0		0		0		0			
		本 地 区 分 ①	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0	0.000	0			
賦役・その他	その他経費	R 1 年度 (1.184)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 2 〃 (1.196)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 3 〃 (1.108)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 4 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		R 5 〃 (1.000)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		既往年平均経費		0		0		0		0		0			
		本 地 区 分 ③	1.000	0	1.000	0	1.000	0	1.000	0	1.000	0			
		事業内容（算出基礎）	・草刈り		・賦役なし		・草刈り		・草刈り		・草刈り				
既往年平均経費 ① ＋ ② ＋ ③				0		0		0		0		0			

カ．団体の管理する水利施設以外の施設等の年経費

（第6表）

施設番号及び施設名		番号						合計
		現況						
		計画						
変更区分								
管理者名								
現況	施設の概要	構造・数量						
	既往年経費	経費（千円）①						
		算出基礎						
計画	施設の概要	構造・数量	該当事項なし					
	計画年経費	経費（千円）③						
		算出基礎						
なかりせば	既往年経費	経費（千円）②						
		算出基礎						
維持管理費節減額	効果額	更新分 ②－①						
		新設分 ①－③						
	所得額 ①－③							

キ　維持管理費節減効果の算定

（第7表）

施設番号 現況	施設番号 計画	施設名 現況	施設名 計画	管理団体	改良 廃止 新設 変更なし 等の区分	現況施設の維持管理費（既往年経費） 維持管理費 年々経常的なもの（千円）	維持管理費 短期周期的なもの（千円）	賦役 その他（千円）	計（千円）①	事業なかりせば維持管理費（既往年経費） 維持管理費 年々経常的なもの（千円）	賦役 その他（千円）	計（千円）②	事業ありせば維持管理費 計画年経費（千円）③	維持管理費節減効果額 年効果額 再建設整備（千円）②−①	年効果額 新設整備（千円）①−③	年増加所得額（千円）①−③
1	1	ため池		白山安養寺土地改良区	既設利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	提体		白山安養寺土地改良区	更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	3	洪水吐		白山安養寺土地改良区	更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	4	取水施設		白山安養寺土地改良区	更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	5	末端用水路		白山安養寺土地改良区	既設利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計									0			0	0	0	0	0

ク．維持管理費節減効果の総括

（第8表）

効　果　名	年 効 果 額 （千円）	年増加所得額 （千円）	備　考
維持管理費節減効果 （事業ありせば効果額）	0	0	新設整備
維持管理費節減効果 （事業なかりせば効果額）	0		再建設整備
計	－	－	

災害防止効果
（ため池等整備）

年　効　果　額　の　算　定

１．災害防止効果

（１）災害防止効果

農業資産　　（第1表）

区　　分		想定被害軽減額 ① （千円）	還　元　率 ②	年 効 果 額 ③=①*② （千円）	備　　考
ため池		147,521	0.0432	6,373	
計		147,521		6,373	

一般資産

区　　分		想定被害軽減額 ① （千円）	還　元　率 ②	年 効 果 額 ③=①*② （千円）	備　　考
ため池		153,051	0.0432	6,612	
計		153,051		6,612	

公共資産

区　　分		想定被害軽減額 ① （千円）	還　元　率 ②	年 効 果 額 ③=①*② （千円）	備　　考
ため池		32,275	0.0432	1,394	
計		32,275		1,394	

全　　体

区　　分		想定被害軽減額 ① （千円）	還　元　率 ②	年 効 果 額 ③=①*② （千円）	備　　考
ため池		332,847	0.0432	14,379	
計		332,847		14,379	

$$還元率 = \frac{i \times (1+i)^n}{i \times (1+i)^n - 1} = \frac{0.04 \times (1+0.04)\hat{}66}{(1+0.04)\hat{}66} = \frac{0.53243}{12.31068}$$

ｉ＝　4 %

ｎ＝　66 年

総合耐用年数算定表

区分 種別	工種等 （施設名）	耐用年数 ① （年）	工事費 ② （千円）	工事費年減価 ③=①/② （千円）
当該事業	ため池(構造物)	40	16,020	401
	ため池(その他)	80	39,820	498
	小　　計		55,840	899
	その他費用	62	16,970	197
	計		72,810	1,096
関連事業				
	小　　計			
	計			
合　　計		66	72,810	1,096

想　定　被　害　額　総　括　表

単位[単価:円, 被害想定額:千円]

種目		区分		数量	単価	被害想定額	算出基礎
農業被害	農地	耕土	田	5.8 ha	5,900,000	33,943	谷型:水深1.0m以上,上流2/3 8.63×2/3=5.75ha
		流出	畑	― ha	―	―	
		土石	田	ha	1,975,500		谷型:水深0.5m以上,下流2/3
		埋没	畑	― ha	―	―	
	農業用施設	用水路	半壊	― m	―	―	水深0.0～0.5m
		(土水路)	全壊	― m	―	―	水深0.5m以上
		用水路	半壊	m	3,670		水深0.5～1.0m
		(ｺﾝｸﾘｰﾄ)	全壊	80.0 m	26,818.0	2,145	水深1.0m以上
		排水路	半壊	m	14,476		水深0.0～1.0m
			全壊	1,120.0 m	99,494	111,433	水深1.0m以上
		農道	半壊	m	14,456		水深0.0～1.0m
			全壊	m	29,878.0		水深1.0m以上
	農業用施設(その他)						
	農産物	かんばつ		― ha	―	―	受益農地のうち次の区域外 流出・埋没・浸水
		浸水		― ha	―	―	農地の流出埋没区域外
		流出埋没		― ha	―	―	農地の流出埋没区域
		納屋	半壊	― 戸	―	―	水深0.5～1.5m
		農機具等	全壊	― 戸	―	―	水深1.5m以上
	家畜	牛		― 頭	―	―	
		豚		― 頭	―	―	
		鶏		― 羽	―	―	
農業被害 (計)						147,521	

種目		区分		数量	単価	被害想定額	算出基礎
一般被害	人家	木造	床下浸水	戸	818,000		水深0.0～0.5m
			床上浸水	戸	5,729,000		水深0.5～1.0m
			半壊	17.0 戸	9,003,000	153,051	水深1.0～1.5m
			全壊	戸	27,283,000		水深1.5m以上
	非生家	木造	床下浸水	― 戸		―	水深0.0～0.5m
			床上浸水	― 戸		―	水深0.5～1.0m
			半壊	― 戸		―	水深1.0～1.5m
			全壊	― 戸		―	水深1.5m以上
	その他	木造	半壊	― 戸	1,449,000	―	水深0.0～1.5m
			全壊	― 戸	6,900,000	―	水深1.5m以上
一般被害 (計)						153,051	
公共被害	その他道路	その他	半壊	1,616.0 m	19,972	32,275	水深1.0～2.0m
			全壊	― m		―	水深2.0m以上
			半壊	― m		―	水深1.0～2.0m
			全壊	― m		―	水深2.0m以上
			半壊	― m		―	水深1.0～2.0m
			全壊	― m		―	水深2.0m以上
	その他						
公共被害 (計)						32,275	
被害額 (合計)						332,847	
人命被害	全壊家屋住人			人			
	半壊家屋住人			人			
	人命被害 (計)			人			

洪水量・被災区域及び湛水深の決定

１．被害発生の考え方

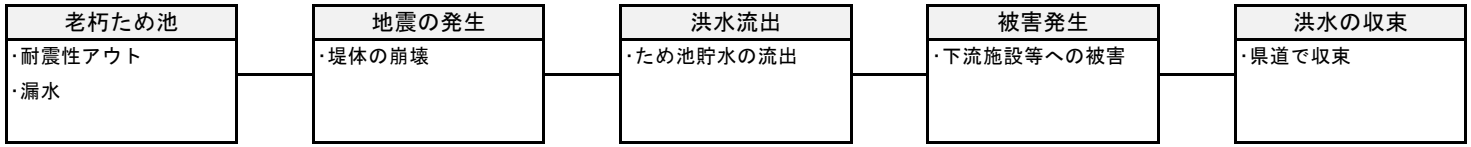
（１）想定被災地域の設定

ため池周辺の地形条件を整理した結果、ため池型、受益地の区分は次のとおりとする。

項　　目	型	受益地	内　　容
ため池区分	谷池	谷型受益	山間や丘陵地で谷をせき止めて造られたため池

（２）被害発生の考え方

当該ため池は江戸時代に築造され、H8年に改修工事し現在に至っているが、堤体は老朽化による安定に欠け（耐震アウト）の状態である。
そこで、今回大規模な地震が発生したことを想定し、堤体の崩壊による下流域への被害額を算定する。
堤体崩壊により発生した洪水は、ため池下流の住宅、農地に流れ込み、県道まで流下するものとする。



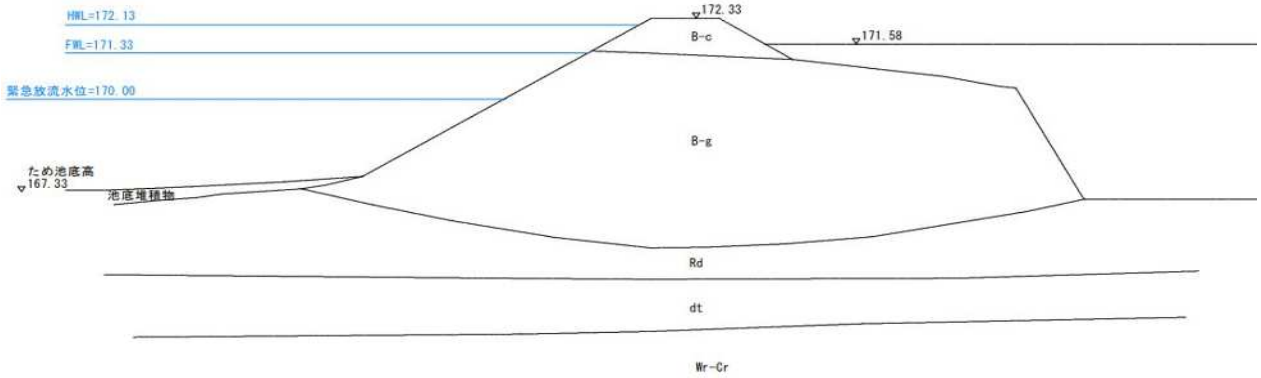
２．洪 水 量 の 算 定

（１）洪水量の想定

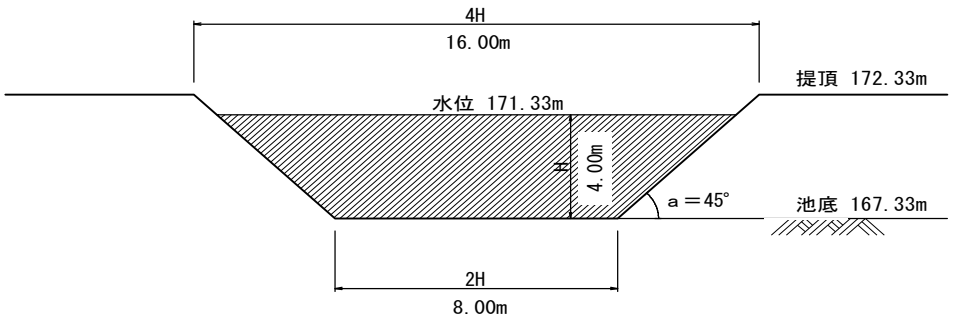
洪水量は防災事業便覧［図2-30　決壊箇所の流積（堤体決壊想定断面）］に準拠する。

（２）堤体の決壊断面想定

【 堤　体　横　断 】



【堤体決壊想定断面】



項　　目	右　岸	左　岸	備　考
提 頂 地 盤 高 ①	172.33 m		
地 山 地 盤 高 ②	167.33 m		
水 面 水 位 ③	171.33 m		
池　底　高 ④	167.33 m		
破 堤 水 深 ⑤＝③－④	4.00 m		
破 堤 上 幅 ⑥＝⑤×４	16.00 m		
破 堤 下 幅 ⑦＝⑤×２	8.00 m		

（３）想定洪水量の算定

決壊想定断面から次式により求められる洪水量は １４４．０ m3/s とする。

Ｑ＝４．５×Ｈ^5/2
　＝４．５×４．００^5/2
　＝４．５×３２．０
　＝１４４．０m3/s

常時満水位FWL(m)	池底高LWL(m)	H=FWL-LWL(m)	流出洪水量(m3/s)
171.33	167.33	4.00	144.0

３．洪水流出による被災区域の想定

（１）被災区域の想定

洪水流出による想定される被災区域は、決壊箇所周辺の地形条件及び洪水決壊流量等から、洪水流出方向及び浸水を想定して設定した。被災始点は洪水流出始点とし、終点は下流地域の国道、県道、市町道等、河川堤防等の水田より高い盛土部とした。また、各測点は、決壊流量、下流地形（平面・縦横断）より設定した。

（２）洪水高の想定

【マニングの公式】

Ｑ＝Ａ・Ｖ

$V = 1/N \cdot I^{1/2} \cdot R^{2/3}$

Ｑ：流量

Ａ：通水断面積　Ａ＝Ｈ×Ｂ　Ｂ：洪水幅

Ｖ：流速

Ｎ：粗度係数

Ｉ：動水（水面）勾配

Ｒ：径深　Ｒ＝Ａ／Ｐ　Ｐ：潤辺（流れの横断面：２Ｈ＋Ｂ）

表 5-7　流域特性と等価粗度

流　域　の　状　態	等価粗度 N ($m^{-1/3} \cdot s$)
階段状に宅地造成を行った丘陵地帯	0.05
流域の一部(15 %)に宅地造成が行われた丘陵地帯	0.1～0.2
階段状田畑主体流域	0.2～0.4
上流山地，中下流に市街地を含む階段状田畑主体流域	0.3～0.5
林相のかなりよい山地流域	0.4～0.8
上流丘陵地 50 %，中流市街地 20 %，下流低平水田 30 %の流域	0.6～1.1
排水改良の行われていない水田地帯	1～3

【洪水流出区域における区間別水深の算定】

区　間	流量Ｑ (m3/s)	斜面勾配Ｉ	斜面幅Ｂ (m)	粗度係数N	水深Ｈ (m)	備　考
A	144.0	1/30	150.0	0.30	1.31	
B	144.0	1/40	260.0	0.30	1.03	

被　害　額　の　算　定

４．被害程度の想定

発生する被害の程度は、防災事業便覧P256［表2-7　想定被害算定基礎表］に準拠する。

事項	項　　目	細　　目	対象地域等	想定被害の程度	備　　考
農業被害	農地	耕土流出	水深1.0m以上の洪水流出区域	上流1/2(平野型受益地)	耕土流出被害と土砂埋没被害の重複を避けること
				または上流2/3(谷型受益地)	
		土砂埋没	水深0.5m以上の洪水流出区域	下流1/2(平野型受益地)	
				または下流2/3(谷型受益地)	
	農業用施設	コンクリート水路	水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.0mは半壊	
				水深1.0m以上は全壊	
		土水路	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは半壊	
				水深0.5m以上は全壊	
		排水路及び農道	水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.0mは半壊	
				水深1.0m以上は全壊	
		下流ため池，揚水機場，取水ゼキ	水深0.5m以上の洪水流出区域	壊水深0.5～1.5mは半壊	
				壊水深1.5m以上は全壊	
	農作物	流出・埋没被害	農地欄で算定した全面積	収量0	相互に重複しないこと
		浸水・埋没被害	全洪水流出区域から上記を除いた面積	適宜の減収	
		干魃被害	被災を想定した全かんがい施設がかり面積	適宜の減収	
	農業用納屋等		水深0.5m以上の洪水流出区域	水深0.5～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
	家畜		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
公共関係	人家，工場，公共建物等		水深0.0m以上の洪水流出区域	水深0.0～0.5mは床下浸水	
				水深0.5～1.0mは床上浸水	
				水深1.0～1.5mは半壊	
				水深1.5m以上は全壊	
	道路，橋梁，鉄道等		水深1.0m以上の洪水流出区域	水深1.0～2.0mは半壊	
				水深2.0m以上は全壊	
人　　命			半壊以上家屋の住人	半壊家屋は1/2の危険	
				全壊家屋は全員の危険	

被　害　単　価
（農　地　・　農　作　物）

農地及び農作物被害

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

農　　地	a.耕土流出	谷　　型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流２／３の面積
		皿　　型	水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流１／２の面積
	b.土砂埋没	谷　　型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流２／３の面積（ａの区域と重複しないこと）
		皿　　型	水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流１／２の面積（ａの区域と重複しないこと）
農 作 物	c.浸　　水		洪水流出区域のうちａ及びｂのいずれにも属さない区域　（農作物被害のみの計上とする）
	d.干 ば つ		改修ため池の受益のうち、ａ、ｂ及びｃのいずれにも属さない区域
	e.流出埋没		農地被害の全面積

農　地　復　旧　単　価

【　耕土流出　】
流出した耕土を復旧する客土工費用を見込んだものである。

工　　種	面　　積	工 事 費	備　　考
客 土 工	13.6　ha	80,000　千円	

(参考)県営経営体育成基盤整備事業計画概要書における、整地工内の客土工費。

客土工　　80,000 千円　÷　13.6ha　＝　5,882 千円/ha　　≒　　5,900,000　円/ha

【　土砂埋没　】
堆積した土砂を搬出処分し、整地を行う費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
掘削積込	500　m^3	548　円	274,000　円/ha		
残土処分	500　m^3	1,647　円	823,500　円/ha		10,000 m^2　×　0.05 m　＝ 500.0 m^3
					※機械積込費内訳
					機械土工（ﾌﾞﾙﾄｰｻﾞ掘削押土）　255 円/m^3
					バックホウ掘削　293 円/m^3
					計　548 円/m^3
諸経費	80　%	1,097,500　円	878,000　円/ha		
					※残土処分費内訳
計			1,975,500　円/ha		ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬（BH0.45、L=10km以下）　1,647 円/m^3

被　害　の　程　度
（農　業　資　産）

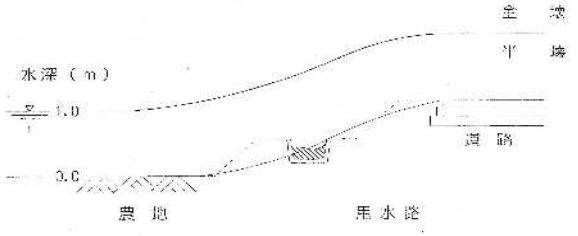
農業用施設被害

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

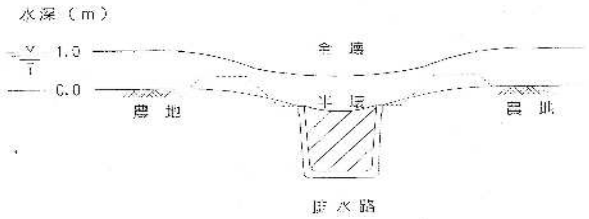
農　　道		半　　壊	水深0.0～1.0m
		全　　壊	水深1.0m以上
用 水 路	土 水 路	半　　壊	水深0.0～0.5m
		全　　壊	水深0.5m以上
	コンクリート水路	半　　壊	水深0.5～1.0m
		全　　壊	水深1.0m以上
排 水 路		半　　壊	水深0.0～1.0m
		全　　壊	水深1.0m以上
そ の 他		半　　壊	壊水深0.5～1.5m
		全　　壊	壊水深1.5m以上

農業用水路



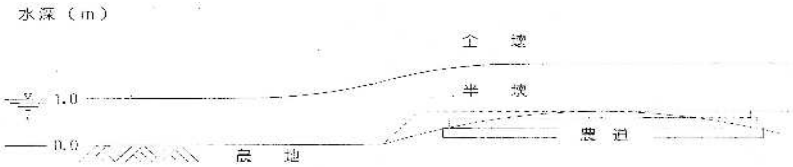
※洪水は常に流下しているため、用水路の土砂埋没や崩壊が予想され、水路機能の低下がみられる。
そのため、農地からの洪水が用水路線方向に流下するよりもむしろ、道路側への越流がほとんどである。
このことから、農地、用水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

農業排水路



※洪水は常に流下しているため、農地の耕土流出や畦畔の破壊による、排水路の土砂埋没や破壊が予想される。
そのため、排水路機能の著しい低下が予想され、全洪水を流下させる能力はなくなり、次の農地へと越流するのものと考えられる。このことから、農地、排水路共に想定被害水深は一定とするのが妥当である。

道　　路



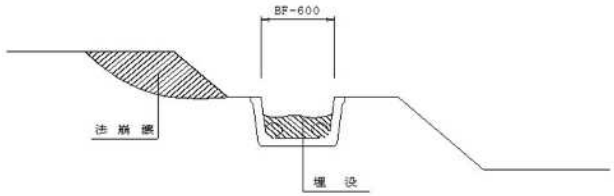
※洪水は常に流下しているが、簡易的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。
つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農地と一定水深のまま農道に流下するものと考えられる。

被　害　単　価
（農　業　用　水　路）

用 水 路 復 旧 単 価

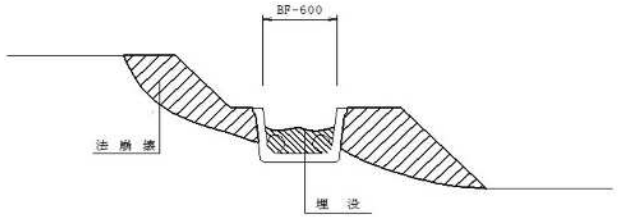
【 半　　壊 】
溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
掘削（人力）	0.10 m^3	7,596 円	760 円/m	S単- 1号	用 水 路 半 壊
残土処分	0.10 m^3	2,045 円	205 円/m	T単- 1号	
購入土	0.10 m^3	3,500 円	350 円/m	T単- 2号	
盛土工	0.10 m^3	1,960 円	196 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	0.5 m^2	647 円	324 円/m	S単-10号	
諸経費	100 %	1,835 円	1,835 円/m		
計			3,670 円/m		



【 全　　壊 】
溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
掘削（人力）	0.11 m^3	7,596 円	836 円/m	S単- 1号	用 水 路 全 壊
残土処分	0.11 m^3	2,045 円	225 円/m	T単- 1号	
購入土	0.11 m^3	3,500 円	385 円/m	T単- 2号	
盛土工	0.11 m^3	1,960 円	216 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.0 m^2	647 円	647 円/m	S単-10号	
ＢＦ布設	1.0 m	8,500 円	8,500 円/m	T単-12号	
撤去	1.0 m	2,600 円	2,600 円/m	S単-14号	
諸経費	100 %	13,409 円	13,409 円/m		
計			26,818 円/m		

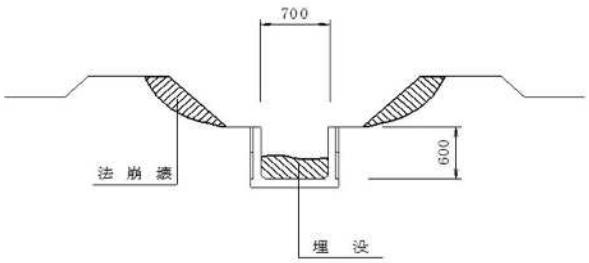


被　害　単　価
（農　業　排　水　路）

排 水 路 復 旧 単 価

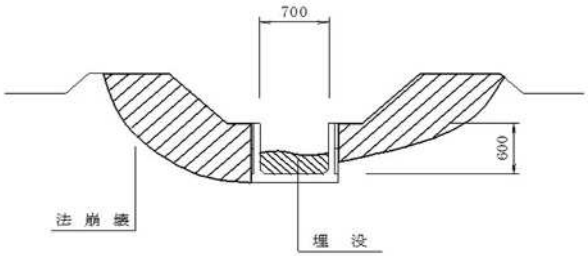
【 半　　壊 】
溢水区域内の復旧は、水路溝畔が洗堀崩壊し水路内に堆砂した土砂を除去する費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
掘削（人力）	0.21 m^3	7,596 円	1,595 円/m	S単- 1号	排 水 路 半 壊
機械小運搬	0.21 m^3	745 円	156 円/m	S単-11号	
残土処分	0.21 m^3	2,045 円	429 円/m	T単- 1号	
購入土	0.40 m^2	3,500 円	1,400 円/m	T単- 2号	
機械小運搬	0.40 m^3	745 円	298 円/m	S単-11号	
盛土転圧(人力併用)	0.40 m^3	1,960 円	784 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.4 m^2	647 円	906 円/m	S単-10号	
水替・仮設・その他	30 %	5,568 円	1,670 円/m		
諸経費	100 %	7,238 円	7,238 円/m		
計			14,476 円/m		



【 全　　壊 】
溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
掘削（人力）	0.21 m^3	7,596 円	1,595 円/m	S単- 1号	排 水 路 全 壊
機械小運搬	0.21 m^3	745 円	156 円/m	S単-11号	
残土処分	0.21 m^3	2,045 円	429 円/m	T単- 1号	
購入土	2.12 m^2	3,500 円	7,420 円/m	T単- 2号	
機械小運搬	1.76 m^3	745 円	1,311 円/m	S単-11号	
盛土転圧(人力併用)	1.76 m^3	1,960 円	3,450 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.4 m^2	647 円	906 円/m	S単-10号	
ＨＦ布設	1.0 m	23,000 円	23,000 円/m	T単- 3号	
水替・仮設・その他	30 %	38,267 円	11,480 円/m		
諸経費	100 %	49,747 円	49,747 円/m		
計			99,494 円/m		

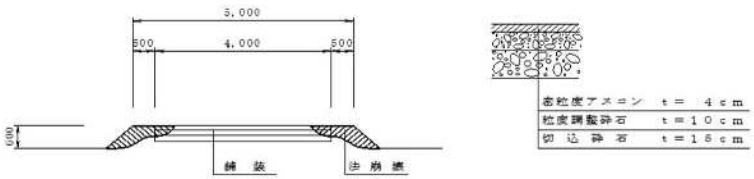


被　害　単　価
（農　　道）

農　道　復　旧　単　価

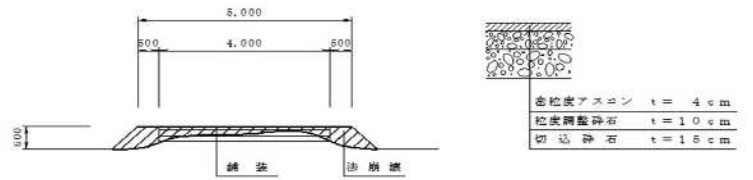
【　半　　壊　】
溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
購入土	0.60 m^3	3,500 円	2,100 円/m	T単- 2号	農 道 半 壊
盛土工	0.60 m^3	1,960 円	1,176 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.0 m^2	647 円	647 円/m	S単-10号	
表層復旧	1.2 m^2	1,373 円	1,648 円/m	S単-20号	
上層路盤復旧	1.2 m^2	700 円	840 円/m	T単- 4号	
下層路盤復旧	1.2 m^2	681 円	817 円/m	T単- 5号	
諸経費	100 %	7,228 円	7,228 円/m		
計			14,456 円/m		



【　全　　壊　】
溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
購入土	0.60 m^3	3,500 円	2,100 円/m	T単- 2号	農 道 全 壊
盛土工	0.60 m^3	1,960 円	1,176 円/m	T単- 3号	
盛土法面整形工	1.0 m^2	647 円	647 円/m	S単-10号	
表層復旧	4.0 m^2	1,373 円	5,492 円/m	S単-18号	
上層路盤復旧	4.0 m^2	700 円	2,800 円/m	T単- 4号	
下層路盤復旧	4.0 m^2	681 円	2,724 円/m	T単- 5号	
諸経費	100 %	14,939 円	14,939 円/m		
計			29,878 円/m		



被害の程度
（一般資産）

一般資産被害

（１）被害の考え方

被災区域は地形勾配が１／５００以上のため水害被害率は「Ｃグループ」を採用する。

〔一般資産水害被害率〕

資産種類等 ＼ 浸水深等の規模		床下浸水	床上浸水 50cm未満	床上浸水 50～99cm	床上浸水 100cm以上	土砂堆積（床上） 50cm未満	土砂堆積（床上） 50cm以上	全壊（流失）
家屋（木造＋非木造）	Aグループ	0.03	0.053	0.072	0.117	0.43	0.57	1.0
	Bグループ		0.083	0.126	0.192			
	Cグループ		0.124	0.210	0.330			
家庭用品		—	0.086	0.191	0.366	0.50	0.69	
事業所	償却資産	—	0.180	0.314	0.443	0.54	0.63	
	在庫資産	—	0.127	0.276	0.398	0.48	0.56	
農・漁家	償却資産	—	0.156	0.237	0.311	0.37	0.45	
	在庫資産	—	0.199	0.370	0.510	0.58	0.69	

（注）1．A，B，Cの各グループ区分は，地盤勾配の区分で，Aは1/1,000未満，Bは1/1,000～1/500未満，Cは1／500以上である。

2．家屋の被害率は，木造，非木造の別の値を合成したものである。

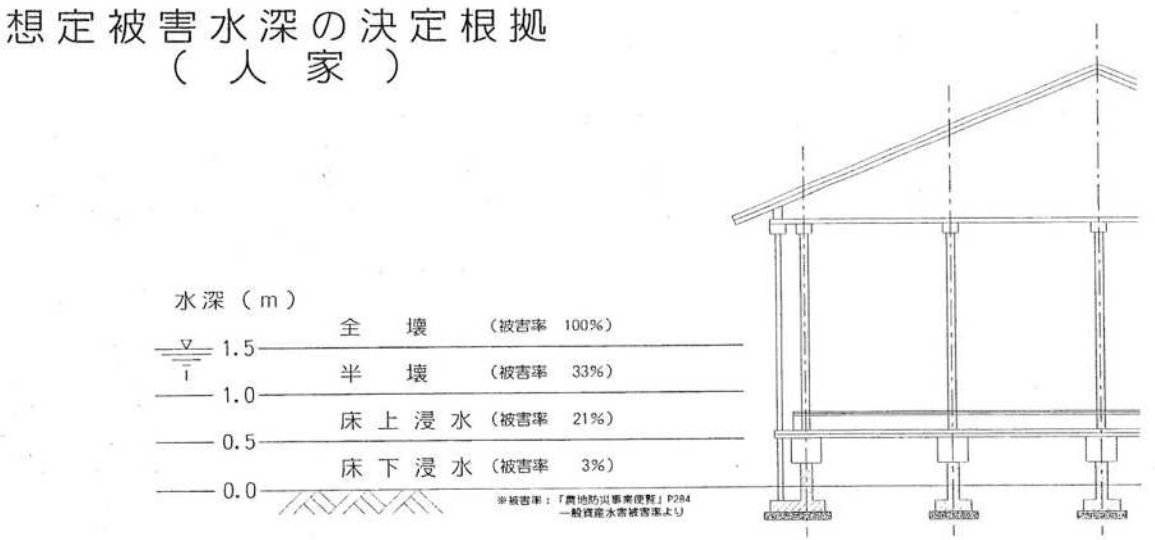
なお，各資産の単位当たり評価額（いわゆる単価）については，「水害統計」を参照されたい。

被　害　単　価
（建　築　物）

一般資産（建築物）

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。



※宅地基礎地盤標高は、道路標高と同等と考えられる。つまり、道路における想定被害水深と宅地における想定被害水深は等しいこととした。
また、宅地における床高は「建築基準法」によると地盤より４５cm以上と定められていることから、床高を概ね５０cm以上とし、床上下浸水の境界とした。

建築物復旧単価

【１戸当り評価額】

建築の種類	区分	建築物の数 （棟） A	工事予定額 （百万円） B	１戸当り 工事予定額 （百万円） C=B/A	支出済費用 換算係数 D	１戸当り 工事予定額 （千円） E=C*D	備　　考
住　　宅	木造					27,283	別紙参照
倉　　庫	その他					6,900	〃

【被害単価】

建築の種類	区分	単位当り 評 価 額 （千円）	浸　水　深 0.5m未満（床下浸水） 被害率	被害額 （千円）	0.5～1.0m（床上浸水） 被害率	被害額 （千円）	1.0～1.5m（半壊） 被害率	被害額 （千円）	1.5m以上（全壊） 被害率	被害額 （千円）	備考
住　　宅	建物Ａ										
	建物Ｂ										
	建物Ｃ	27,283	0.030	818	0.210	5,729	0.330	9,003	1.000	27,283	

建築の種類	区分	単位当り 評 価 額 （千円）	浸　水　深 被害率	被害額 （千円）	被害率	被害額 （千円）	0.5～1.5m（半壊） 被害率	被害額 （千円）	1.5m以上（全壊） 被害率	被害額 （千円）	備考
倉　　庫	建物Ａ										
	建物Ｂ										
	建物Ｃ	6,900	0.030	207	0.210	1,449	0.210	1,449	1.000	6,900	

福井県における用途別・構造別 建築物予定工事費整理表

用途		年度	木造				鉄骨鉄筋コンクリート造				鉄筋コンクリート造				鉄骨造				コンクリートブロック造				その他			
			建築数（棟）	工事費（百万円）	換算係数	1棟当り（千円）	建築数（棟）	工事費（百万円）	換算係数	1棟当り（千円）	建築数（棟）	工事費（百万円）	換算係数	1棟当り（千円）	建築数（棟）	工事費（百万円）	換算係数	1棟当り（千円）	建築数（棟）	工事費（百万円）	換算係数	1棟当り（千円）	建築数（棟）	工事費（百万円）	換算係数	1棟当り（千円）
1	住宅	R. 1	3,197	74,117	1.184	27,449			1.184		7	2,724	1.184	460,745	251	11,035	1.184	52,052			1.184		191	203	1.184	1,256
		R. 2	2,908	65,548	1.196	26,959	1	39	1.196	46,405	2	165	1.196	98,670	224	10,146	1.196	54,172			1.196		201	187	1.196	1,114
		R. 3	3,082	70,855	1.108	25,473	4	3,017	1.108	835,571	10	2,434	1.108	269,676	295	15,825	1.108	59,437			1.108		228	279	1.108	1,357
		R. 4	2,825	68,113	1.100	26,522	1	49	1.100	54,230	2	1,132	1.100	622,820	264	14,060	1.100	58,584	1	26	1.100	28,446	253	341	1.100	1,483
		R. 5	2,410	65,752	1.100	30,011	2	29	1.100	15,719	6	4,702	1.100	862,033	200	11,491	1.100	63,203	1	2	1.100	2,200	256	316	1.100	1,359
		平均		22,367		27,283				237,900				462,700				57,400				15,300				1,300
2	産業用建築物	R. 1	269	7,559	1.184	33,270	2	6,001	1.184	3,552,793	26	32,800	1.184	1,493,667	431	58,225	1.184	159,951	4	9	1.184	2,617	29	51	1.028	1,797
		R. 2	231	5,476	1.196	28,352	2	83	1.196	49,514	16	18,856	1.196	1,409,464	301	42,498	1.196	168,864			1.196		31	68	1.027	2,241
		R. 3	222	6,010	1.108	29,996	3	56	1.108	20,498	23	13,544	1.108	652,472	414	60,547	1.108	162,045			1.108		53	390	1.044	7,676
		R. 4	232	7,716	1.100	36,583	2	882	1.100	485,100	17	5,123	1.100	331,519	336	52,796	1.100	172,845	5	32	1.100	6,983	46	370	1.004	8,076
		R. 5	249	11,794	1.100	52,102	6	11,397	1.100	2,089,408	25	17,963	1.100	790,364	305	66,703	1.100	240,570	1	3	1.100	3,300	34	78	1.000	2,309
		平均				36,000				1,239,400				935,400				180,800				4,300				4,400
3	事務所	R. 1	55	1,089	1.184	23,435	1	6,000	1.184	7,104,000	2	250	1.184	148,000	60	14,306	1.184	282,296			1.184		1	1	1.028	822
		R. 2	61	1,731	1.196	33,948	1	80	1.196	95,680			1.196		48	10,789	1.196	268,821			1.196		1	1	1.027	924
		R. 3	48	1,047	1.108	24,176			1.108		2	452	1.108	250,408	59	7,708	1.108	144,755			1.108		3	69	1.044	24,040
		R. 4	47	1,338	1.100	31,303			1.100				1.100		35	4,689	1.100	147,356			1.100		1	1	1.004	904
		R. 5	57	2,499	1.100	48,229	2	1,797	1.100	988,224	1	25	1.100	27,500	42	28,375	1.100	743,155			1.100				1.000	
		平均				32,200				2,729,300				141,900				317,200								6,600
4	店舗	R. 1	21	753	1.184	42,473			1.184				1.184		46	2,629	1.184	67,674			1.184				1.028	
		R. 2	14	286	1.196	24,398			1.196		1	660	1.196	789,360	34	5,678	1.196	199,732			1.196		1	4	1.027	4,108
		R. 3	23	620	1.108	29,870			1.108				1.108		44	5,117	1.108	128,860			1.108		1	6	1.044	5,888
		R. 4	40	982	1.100	27,008			1.100				1.100		35	5,834	1.100	183,364			1.100		2	5	1.004	2,410
		R. 5	25	1,394	1.100	61,354			1.100		1	80	1.100	88,000	35	8,008	1.100	251,694			1.100				1.000	
		平均				37,000								438,600				166,200								4,100
5	工場	R. 1	17	361	1.184	25,176			1.184		2	19,000	1.184	11,248,000	78	21,314	1.184	323,543			1.184		10	1	1.028	103
		R. 2	28	1,096	1.196	46,808			1.196		2	6,424	1.196	3,841,552	61	13,067	1.196	256,207			1.196		4	17	1.027	4,288
		R. 3	27	839	1.108	34,418			1.108		2	2,160	1.108	1,196,640	102	18,353	1.108	199,366			1.108		13	146	1.044	11,749
		R. 4	21	630	1.100	33,002			1.100				1.100		86	27,282	1.100	348,960	1	2	1.100	2,255	2	5	1.004	2,410
		R. 5	14	631	1.100	49,546	2	6,600	1.100	3,630,000			1.100		73	18,597	1.100	280,227			1.100		1	1	1.000	670
		平均				37,700				3,630,000				5,428,700				281,600				2,200				3,800
6	倉庫	R. 1	55	594	1.184	12,784			1.184		2	48	1.184	28,416	106	11,202	1.184	125,120	4	9	1.184	2,617	5	16	1.184	3,789
		R. 2	48	510	1.196	12,714	1	3	1.196	3,349			1.196		62	2,388	1.196	46,067			1.196		3	11	1.196	4,270
		R. 3	42	568	1.108	14,996	1	10	1.108	11,080	2	134	1.108	74,236	93	11,350	1.108	135,218			1.108		7	112	1.108	17,712
		R. 4	34	422	1.100	13,658			1.100		6	1,218	1.100	223,300	78	4,328	1.100	61,042	4	30	1.100	8,165	2	10	1.100	5,500
		R. 5	35	654	1.100	20,550			1.100		2	116	1.100	63,712	55	4,639	1.100	92,783			1.100		6	18	1.100	3,355
		平均				14,900				7,200				97,400				92,000				5,300				6,900
7	学校校舎	R. 1	2	374	1.184	221,112			1.184		1	2,718	1.184	3,218,586	7	754	1.184	127,534			1.184				1.028	
		R. 2			1.196				1.196		2	1,616	1.196	966,368	4	962	1.196	287,740			1.196				1.027	
		R. 3	1	15	1.108	16,620	1	13	1.108	13,850	2	850	1.108	470,900	1	30	1.108	33,240			1.108				1.044	
		R. 4			1.100				1.100		2	1,658	1.100	911,900	1	2	1.100	2,574			1.100				1.004	
		R. 5	1	100	1.100	110,000	1	2,700	1.100	2,970,000	2	335	1.100	184,250	7	685	1.100	107,659			1.100				1.000	
		平均				115,900				1,491,900				1,150,400				111,700								
8	病院診療所	R. 1	11	700	1.184	75,383			1.184				1.184		3	215	1.184	84,853			1.184				1.028	
		R. 2	9	482	1.196	64,029			1.196		1	4,273	1.196	5,110,508	2	14	1.196	8,372			1.196				1.027	
		R. 3	7	423	1.108	66,892			1.108		2	1,088	1.108	602,846	2	1,017	1.108	563,529			1.108				1.044	
		R. 4	5	162	1.100	35,572	1	847	1.100	931,700			1.100		3	383	1.100	140,433			1.100				1.004	
		R. 5	10	980	1.100	107,800	1	300	1.100	330,000			1.100		1	60	1.100	66,000			1.100				1.000	
		平均				69,900				630,800				2,856,600				172,600								

※この表は建築着工統計調査から抜粋したものである。

公　共　資　産　被　害

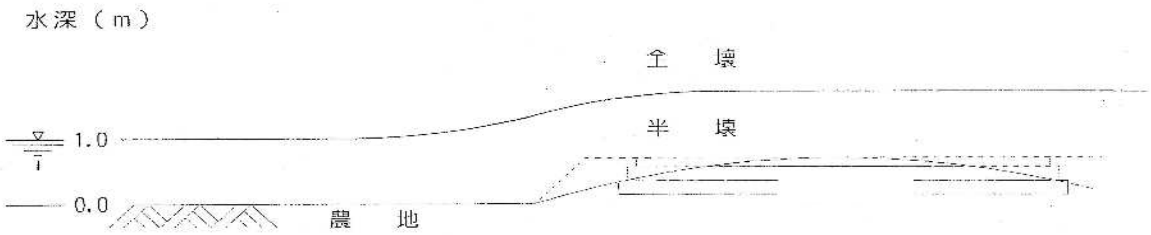
被 害 単 価（公 共 道 路）

公共施設被害（道路）

（１）被害の考え方

被害の考え方を次に示す。

想定被害水深の決定根拠

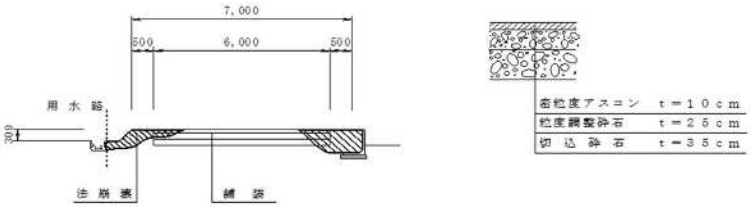


※洪水は常に流下しているが、簡易的構造で壊れるため、農道により閉鎖的な区域にはならない。
つまり、農地に滞留した洪水が溢水として農道に越流するのではなく、農地と一定水深のまま農道に流下するものと考えられる。

その他道路復旧単価

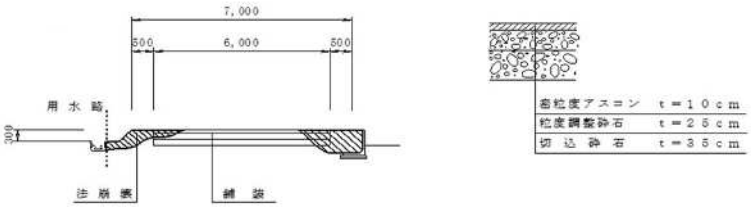
【　半　　壊　】
溢水区域内の復旧は、路肩洗掘（アスファルト舗装）を復旧する費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
購入土	0.60　m^3	3,500　円	2,100　円/m	P96001	半壊
盛土工	0.60　m^3	2,045　円	1,227　円/m	T単-1号	
盛土法面整形工	1.0　m^2	647　円	647　円/m	S単-10号	
表層復旧	2.0　m^2	1,625　円	3,250　円/m	S単-14号	
上層路盤復旧	2.0　m^2	700　円	1,400　円/m	T単-2号	
下層路盤復旧	2.0　m^2	681　円	1,362　円/m	T単-3号	
諸経費	100　%	9,986　円	9,986　円/m		
計			19,972　円/m		



【　全　　壊　】
溢水区域内の復旧は、全損した費用を見込んだものである。

費　　目	数　量	単　　価	金　　額	単価番号	備　　考
購入土	0.60　m^3	3,500　円	2,100　円/m	P96001	全壊
盛土転圧(人力併用)	0.60　m^3	2,045　円	1,227　円/m	T単-1号	
法面仕上げ	1.0　m^2	647　円	647　円/m	S単-10号	
表層復旧	6.0　m^2	1,625　円	9,750　円/m	S単-18号	
上層路盤復旧	6.0　m^2	700　円	4,200　円/m	T単-2号	
下層路盤復旧	6.0　m^2	681　円	4,086　円/m	T単-3号	
諸経費	100　%	22,010　円	22,010　円/m		
計			44,020　円/m		



被　害　単　価
（農　地　・　農　作　物）

農業用施設被害

種　類		区　分	数量(m)	単価(円)	被害額(千円)	摘　　要
農　道		半　壊			—	水深0.0～1.0m
		全　壊		29,878	—	水深1.0m以上
用水路	土水路	半　壊			—	水深0.0～0.5m
		全　壊			—	水深0.5m以上
	コンクリート水路	半　壊		3,670	—	水深0.5～1.0m
		全　壊	80.0	26,818	2,145	水深1.0m以上
排水路		半　壊			—	水深0.0～1.0m
		全　壊	1,120.0	99,494	111,433	水深1.0m以上
その他		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上
		半　壊			—	壊水深0.5～1.5m
		全　壊			—	壊水深1.5m以上

農地及び農作目被害額

（１）農地被害

【耕土流出被害】

被害項目	面積(ha)	単価(円)	被害額(千円)	摘　　要
a.耕土流出	5.8	5,900,000	33,943	谷型受益：水深1.0メートル以上の洪水流出区域の上流2/3の面積

【土砂埋没被害】

被害項目	面積(ha)	単価(円)	被害額(千円)	摘　　要
b.土砂埋没	－	1,975,500	－	谷型受益：水深0.5メートル以上の洪水流出区域の下流2/3の面積（ａの区域と重複しないこと）

（２）農作物被害

【浸水被害】

被害項目	面積(ha)	単価(円)	被害額(千円)	摘　　要
c.浸　　水	－	－	－	洪水流出区域のうちａ及びｂのいずれにも属さない区域　（農作物被害のみの計上とする）

【干ばつ被害】

被害項目	面積(ha)	単価(円)	被害額(千円)	摘　　要
d.干 ば つ	－	－	－	改修ため池の受益のうち、ａ、ｂ及びｃのいずれにも属さない区域

※作成生産効果との重複を避けるため、計上なし。

【流出・埋没被害】

被害項目	面積(ha)	単価(円)	被害額(千円)	摘　　要
e.流出埋没	5.8	7,875,500	45,308	農地被害の全面積

国産農産物安定供給効果

ア 生産増減量及び増加粗収益額の算定

（第1表）

計画地目	作物名	作付面積					効果要因	効果発生面積	単収等 (kg/10a)								生産増減量				生産物単価	増加粗収益額	
		更新整備		新設整備		増減			現況単収	なかりせば			ありせば			計画単収	単収増	作付増減	再建設整備	新設整備		再建設整備	新設整備
		現況	計画	現況	計画					立地条件好転機能喪失時の単収	機能喪失により失われる単収	単収	10アール当たり被害防止量	無被害単収	10アール当たり増加量								
								x	a	b	c=a−b	d=a−c	e	f=a−d	g	h=f+g	i=x×c・e・g	j=x×a・h	k=i	l=i・j	m	n=k×m	o=l×m
		ha	ha	ha	ha	ha		ha									t	t	t	t	千円/t	千円	千円
田	水稲	13.9	13.9	−	−	−	水管理-3	13.9	516	217	299						41.6		41.6		254	10,566	
							計	−	516	217	299	217	−			0	41.6						
				−	−		作付減			−	−	−											
							水稲計	−		217	299	217	−			0	41.6		41.6			10,566	
	大麦	0.3	0.3					0.3	286	249	37						0.1				53		
							計	−	286	249	37	249	−	−	−	−	0.1						
							作付減			−	−	−											
							計	−		249	37	249					0.1					0	0
	そば	0.5	0.5					0.5	40	35	5						0.0		0.0		268	0	
							計	−	40	40		40	−	−	−	−	0.0				268		
							作付増			−	−	−				0							
							計	−	40	40		40				0	0.0		0.0		−	0	
計																			−	−		10,566	0

イ 増加供給熱量の算定

（第2表）

地目	作物名	生産増減量		作物別重量当たり供給熱量	増加供給熱量		備　考
		再建設整備 ①	新設整備 ②	③	再建設整備 ①*③	新設整備 ②*③	
		t	t	千kcal/t	千kcal	千kcal	
田	水稲	41.6	―	3,040	126,464	―	水稲(飼料用を除く)
畑							
合　計					126,464	0	

ウ 国産農産物安定供給効果の総括

（第3表）

効　果　名	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 ②	単位食料生産額当たり効果額 ③	単位供給熱量当たり効果額 ④	当該土地改良事業における年効果額 ①*③+②*④	備　考
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円	
国産農産物安定供給効果 （事業ありせば年効果額）	－	－	49	9.9	－	新設整備
国産農産物安定供給効果 （事業なかりせば年効果額）	10,566	126,464	49	9.9	1,770	再建設整備
計	10,566	126,464			1,770	

別表

作物別重量当たり供給熱量

類　別	作　物　名	重量当たり供給熱量（千kcal/t）	備　考
穀　類	水稲（飼料用を除く）	3,040	
	小麦	2,610	
	大麦	1,460	
	はだかー麦	1,810	
	その他の雑穀	2,160	
いも類	かんしょ	1,140	
	ばれいしょ	510	
でん粉	かんしょ	1,000	
	ばれいしょ	710	
豆　類	大豆	3,680	
	その他の豆類	3,340	
野　菜	果菜類	240	
	葉茎菜類	180	
	根菜類	250	
果　実	うんしゅうみかん	310	
	りんご	410	
	その他の果実	470	
砂糖類	てんさい	610	
	さとうきび	460	
油脂類	なたね	2,480	
肉　類	飼料作物（牛肉（枝肉））	1,580	牛肉（枝肉）の値
	飼料作物（豚肉（枝肉））	1,330	豚肉（枝肉）の値
	飼料作物（鶏肉（骨付き肉））	1,020	鶏肉（骨付き肉）の値
鶏　卵	飼料作物（鶏卵）	1,180	鶏卵の値
牛　乳	飼料作物（生乳）	620	生乳の値

景 観 ・ 環 境 保 全 効 果

２）効果算定資料　景観・環境保全効果

①景観・環境保全施設の概要　（第１表）

番号	土地改良施設名	景観・環境保全施設	構造・数量・機能	景観・環境保全施設の事業費	当該土地改良事業				その他事業				維持管理者等	設置理由
					事業費	耐用年数	還元率	資本還元額	事業費	耐用年数	還元率	資本還元額		
				千円	千円	年		千円	千円	年		千円		
1	安養寺（狐谷溜）	提体・貯水池	個体移動	145,000	145,000	80	0.0578	8,381	－	－	－	－	白山安養寺土地改良区	土地改良法の規定による

②景観・環境保全施設の効果額の算定　　（第２－２表）

番号	土地改良施設名	世帯当たりWTP ①	受益範囲 世帯数 ②	CVMによる効果額 ③＝①×②
		円/世帯･年	世帯	千円
1	安養寺 （狐谷溜）	2,774	40	111

※世帯当たりWTP①は別表１により参照

③複数の土地改良施設で同様の水辺環境施設の整備が行われる場合の効果額の推計　（第３表）

番号	土地改良施設名	ＣＶＭによる効果額①	水辺環境施設の事業費②	推計効果額 ＝①×（２番の②÷１番の②）　③
－	該当なし	千円	千円	千円

④当該土地改良事業の効果額の算定　　（第４表）

番号	土地改良施設名	CVMによる効果額 ①	景観・環境 保全施設の 資本還元額 ②＝③＋④	当該土地改良事業の 資本還元額　③	その他事業の 資本還元額　④	当該土地改良事業に おける効果額 ⑤＝①×（③/②）
		千円	千円	千円	千円	千円
1	安養寺 （狐谷溜）	111	8,381	8,381	－	111
	合計					111

安養寺（狐谷溜）地区　景観・環境保全効果　一世帯当たりのWTP額の整理

別表１

大項目	小項目	記載内容		記入欄	係数	計算値
				a	b	c=a×b
定数						5.6459133
評価時期	事前	1：該当する		1	0.00000000	0.00000000
	実施中	0：該当しない		0	0.03743990	0.00000000
	完了後			0	0.30195291	0.00000000
農政局等	北海道	1：該当する		0	0.00000000	0.00000000
	東北	0：該当しない		0	1.63875630	0.00000000
	関東			0	0.95035273	0.00000000
	北陸			1	1.25223330	1.25223330
	東海			0	2.20112090	0.00000000
	近畿			0	0.84281134	0.00000000
	中国四国			0	1.73799450	0.00000000
	九州			0	0.79031080	0.00000000
	沖縄			0	3.26242500	0.00000000
工事期間(年数)		数値を記入		3	0.00472095	0.01416285
事業種	かんがい排水	1：該当する		0	0.00000000	0.00000000
	防災	0：該当しない		1	0.61988055	0.61988055
	農用地整備			0	0.15292345	0.00000000
事業目的	用水整備	1：該当する		0	-0.23761544	0.00000000
	排水整備	0：該当しない		1	-0.29953837	-0.29953837
	畑地かんがい			0	-0.82812123	0.00000000
	農地整備			0	-0.09118428	0.00000000
	農道整備			0	-0.11538377	0.00000000
受益	受益戸者数(対数)	数値を記入		-3.219	-0.05196849	0.16728012
	受益面積(対数)			-4.187	-0.42299170	1.77106602
	受益田割合	割合の数値を記入		100	-0.005153129	-0.515312900
事業効果	事業費(対数)	数値を記入	e	-1.931	-0.21438664	0.41398522
	総費用(対数)		f	-1.100	1.11927590	-1.23116342
	事業費(対数)と総費用(対数)の交差	e×f(自動計算)		2.124	-0.11420461	-0.24257682
	作物生産効果(対数)	数値を記入		-4.666	-0.05544990	0.25873415
保全分類	景観	1：該当する		0	0.04373118	0.00000000
	環境	0：該当しない		1	-0.56631037	-0.56631037

別表１

大項目	小項目	記載内容	記入欄	係数	計算値
			a	b	c=a×b
対象生物 ※対象は２種まで ※植物を対象としない	魚類	1：該当する 0：該当しない	1	0.76654315	0.76654315
	他動物		1	0.38990543	0.38990543
	植物		0	1.62309630	0.00000000
景観・環境保全対象施設	貯水池	1：該当する 0：該当しない	1	-0.28139687	-0.28139687
	頭首工		0	-0.51082080	0.00000000
	用水路		0	-0.37369060	0.00000000
	排水路		0	-0.19410404	0.00000000
	機場		0	0.25825530	0.00000000
	水門		0	-0.15149699	0.00000000
	農道		0	0.31054555	0.00000000
	区画整理		0	0.01862092	0.00000000
文化・学習		1：該当する 0：該当しない	1	-0.15129909	-0.15129909
農業人口割合		割合の数値を記入	3	0.00472961	0.01418883
地域類型1次	都市的	1：該当する 0：該当しない	0	0.00000000	0.00000000
	平地		0	0.47976200	0.00000000
	中間		1	-0.09808757	-0.09808757
	山間		0	1.75476510	0.00000000
地域類型2次	水田型	1：該当する 0：該当しない	1	0.00000000	0.00000000
	田畑型		0	0.54132674	0.00000000
	畑地型		0	0.35286912	0.00000000
合計(ｉ)					7.92820750
予測　一世帯当たりWTP(円/世帯・年)　exp(ｉ)					2,774

【参考：対数に変換する計算式】

	ここに入力 ↓		計算式 ↓		
受益者数A	40	人	LN(A/1000)	＝	-3.219
受益面積B	15.2	ha	LN(B/1000)	＝	-4.187
			10億円の対数		
事業費C	145,000	千円	LN(C/1000/1000)	＝	-1.931
総費用D	332,883	千円	LN(D/1000/1000)	＝	-1.100
作物生産効果E	9,409	千円	LN(E/1000/1000)	＝	-4.666

令和８年度　新規採択希望　県営土地改良事業　安養寺（狐谷溜）地区（農業用用排水施設（ため池等整備（防災重点緊急整備型））事業）　計画平面図

Scale＝1:2500（A1）

0m　100m　200m

全体受益面積
A=15.2ha

受益面積②
A=8.4ha

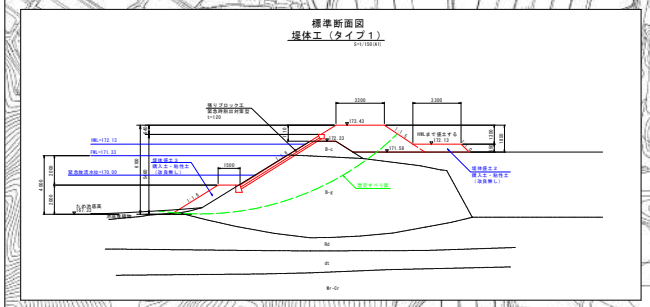
受益面積①
A=6.8ha

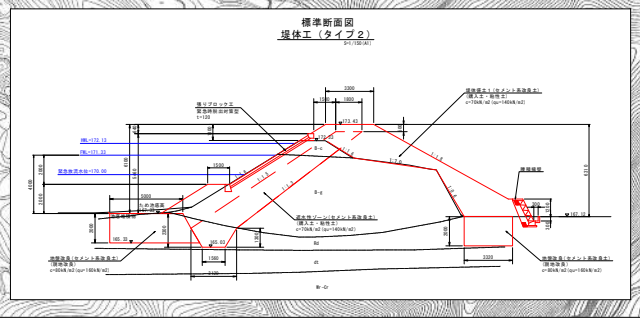
狐谷溜

流域面積
A=13.9ha

福　井　県　内　位　置　図

凡　例			
色　別	名　称		事業量
	受益	農　用　地	１５．２ ha
W	計画	た　め　池	１ ヶ所





事　業　概　要		
主要工事	◆堤体工	
	築堤盛土工	１　式
	張ブロック工	１　式
	◆洪水吐工	
	洪水吐工	１　式
	◆取水施設工	
	斜樋工	１　式
	底樋工	１　式
	◆仮設工	
	仮設道路工	１　式

受益面積	１５．２ ha
全体事業費	１４５．０００ 千円
事業主体	福　井　県